

2023 年 2 月企業調査サマリー

【調査概要】

調査目的：主に基礎力の視点から、卒業生の輩出先である企業(産業界)が求める能力並びに卒業生の印象を明らかにする

調査対象：麻布アライアンス企業をはじめ、過去に就職実績のある企業・地方公共団体

調査方法：インターネットによるアンケート調査 / 調査期間：2023 年 2 月 13 日～2023 年 2 月 28 日

調査数：44 社 集計対象数：39 社（うち 11 社は別途調査を行い、回収した） / 回収率：88.6%

【集計集団の定義】

①民間企業(大規模等)

上記調査の回答企業・団体のうち、民間の企業。27 件。

②民間企業全体

①に加えて、2022 年 8 月調査の回答企業・団体のうち、動物病院,NOSAI,医療福祉を除く民間企業。219 件。

③公務員

2022 年 8 月、2023 年 2 月の調査の回答企業・団体のうち、公務員。20 件。

(公務員については N 数が少ないため、参考程度にお考えください)

【調査のベースとなる項目】

コンピテンシー	対人基礎力	親和力	1. 他者との豊かな関係を築く能力
		協働力	2. 目標に向けて協力的に仕事を進める能力
		統率力	3. 場を読み、組織を動かす能力
	対自己基礎力	感情制御力	4. ストレスのかかる場面でも、気持ちの揺れを制御する能力
		自信創出力	5. 前向きな考え方、やる気を維持する能力
		行動持続力	6. 主体的に動き、よい行動を習慣づける能力
	対課題基礎力	課題発見力	7. 様々な角度から情報を分析し、課題の原因を明らかにする能力
		計画立案力	8. 課題解決のための適切な計画を立てる能力
		実践力	9. 目標達成に向け、実践行動する能力
大学での学修		専門知識	10. 大学の専門科目で学んだ知識・技能
		一般教養	11. 大学の教養科目で学んだ知識・技能
		外国語能力	12. 外国語を使う能力
		データサイエンス能力	13. 数理的思考力とデータ分析・活用能力（数理・データサイエンス、情報科学など）
リテラシー		情報収集力	14. 課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・調査・整理する能力
		情報分析力	15. 収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握する能力
		課題発見力	16. 現象や事実のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定する能力
		構想力	17. さまざまな条件・制約を考慮して、解決策を吟味・選択し、具体化する能力

この調査項目のベースとなる能力要素は「社会で求められる能力要素(ジェネリックスキル)」を使用。(項目 1～17)

この能力要素の特徴は、

- ・すでに産業界からのニーズを検証済であること
- ・ダブリ・重なりがなく、体系として既に纏めていること
- ・独自のライブラリーとして詳細な要素の内容／記述化されたレベル内容を構築済。

調査結果を通じて、今後の大学での教育・在学生への指導の検討材料となることを想定している。

(ジェネリックスキルは在学生のアセスメント PROG がベース。PROG は 2022 年度実績約 300 校。)

※必要度と印象のスコアは選択肢に重みづけをし、下記のように算出している。(わからない、無回答は除く)

【必要度】非常に強く求めている：5 点、強く求めている：4 点、求めている：3 点、余り求めていない：2 点、求めていない：1 点として加重平均値を算出。

【印象】よく当てはまる：2 点、ある程度当てはまる：1 点、あまり当てはまらない：-1 点、まったく当てはまらない：-2 点、として加重平均値を算出。

【経験重視度】非常に重視している、ある程度重視している、あまり重視していない、重視していない、わからない の 5 つの選択肢

■回収率から見える事

2022 年 8 月の調査では、主に卒業生が就職した企業、求人票を定期的にいただいている企業を中心に郵送、メールでリマインドをおこない、発送数：1553 社、集計対象数：385 社、回収率：24.7%であった。

2023 年 2 月の調査はキャリア支援課として発送先を絞り、大規模な民間企業や公務員を中心に依頼を行った。回収率としては非常に高い。今後は学内合説に参加する企業について依頼した調査に回答してもらうことなどを参加条件とするなどして行えば、高い回収率はキープできると考えられる。

一方で、回収企業数自体は多くはないため、集計集団あたり N = 30 以上の回収数を目指すことが望ましい。

・N 数が少ないとその集団の代表性が薄まり、分析やコメントはできかねる。または、参考程度となるため。

【各集計集団の傾向】 ※公務員のスコアは参考程度にお考えください。

【必要度について】

■ 共通する点

- ・①コンピテンシー > ②リテラシー > ③その他 > ④アカデミックスキル
- ・特に必要度が高いコンピテンシー＝対人基礎力（親和力や協働力等）と対自己基礎力（感情制御力、行動持続力、主体性等）

■ 相違の見られる点

- ・強く求めるに「ストレス耐性(感情制御)」を挙げたのは、大企業のみ

【印象について】

■ 共通する点

- ・対人基礎力のうち、「他者との関係構築(親和力)」や「協働力」は、ある程度あてはまる

■ 相違の見られる点

- ・全体的に、民間全体に比べて、大企業等の方が卒業生の評価が高い

■ 必要度・印象の平均値（点）

■必要度・印象の平均値（点）			4.00以上	2.00未満	1.00以上	0.00未満		
			必要度			印象		
分類		項目名	民間企業 (大規模等)	民間企業全体	公務員	民間企業 (大規模等)	民間企業全体	公務員
			N=27	N=219	N=20	N=27	N=219	N=20
コンピ テン シー	対人 基礎力	1. 他者との豊かな関係を築く能力	4.04	4.22	4.30	1.29	1.11	1.39
		2. 目標に向けて協力的に仕事を進める能力	4.19	4.24	4.25	1.46	1.11	1.33
		3. 場を読み、組織を動かす能力	3.78	3.65	4.00	0.88	0.55	1.33
	対自己 基礎力	4. ストレスのかかる場面でも、気持ちの揺れを制御する能力	4.00	3.84	3.70	1.00	0.78	1.06
		5. 前向きな考え方、やる気を維持する能力	4.15	4.22	3.90	1.25	1.00	1.33
		6. 主体的に動き、よい行動を習慣づける能力	4.07	4.17	3.85	1.08	0.87	1.29
	対課題 基礎力	7. 様々な角度から情報を分析し、課題の原因を明らかにする能力	3.74	3.75	3.75	1.21	0.79	1.29
		8. 課題解決のための適切な計画を立てる能力	3.85	3.78	3.80	1.21	0.82	1.18
		9. 目標達成に向け、実践行動する能力	4.07	4.15	3.95	1.33	0.95	1.41
アカデミック スキル		10. 大学の専門科目で学んだ知識・技能	3.11	2.83	3.30	0.75	0.25	1.12
		11. 大学の教養科目で学んだ知識・技能	3.00	2.74	3.00	0.68	0.22	1.00
		12. 外国語を使う能力	2.56	2.28	2.35	-0.43	-0.80	0.21
		13. 数理的思考力とデータ分析・活用能力（数理・データサイエンス、情報科学Iなど）	2.81	2.89	2.80	0.43	0.20	0.81
リテラシー		14. 課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・調査・整理する能力	3.41	3.57	3.75	0.91	0.65	1.35
		15. 収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握する能力	3.37	3.53	3.65	0.87	0.63	1.18
		16. 現象や事実のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定する能力	3.44	3.54	3.55	0.92	0.60	1.24
		17. さまざまな条件・制約を考慮して、解決策を吟味・選択し、具体化する能力	3.56	3.57	3.65	0.92	0.57	1.18
その他		18. 効果的なプレゼンテーションができる	3.26	3.10	3.20	0.50	0.34	0.75
		19. 適切な日本語を用いた文章表現ができる	3.44	3.47	3.90	0.96	0.82	0.94

【重視する経験について】

■ 共通する点

- ・「対人関係の構築」を一番重視している。

■ 相違の見られる点

- ・大企業等は、全体的に経験を重視する傾向がある。

■ 経験重視度（％）

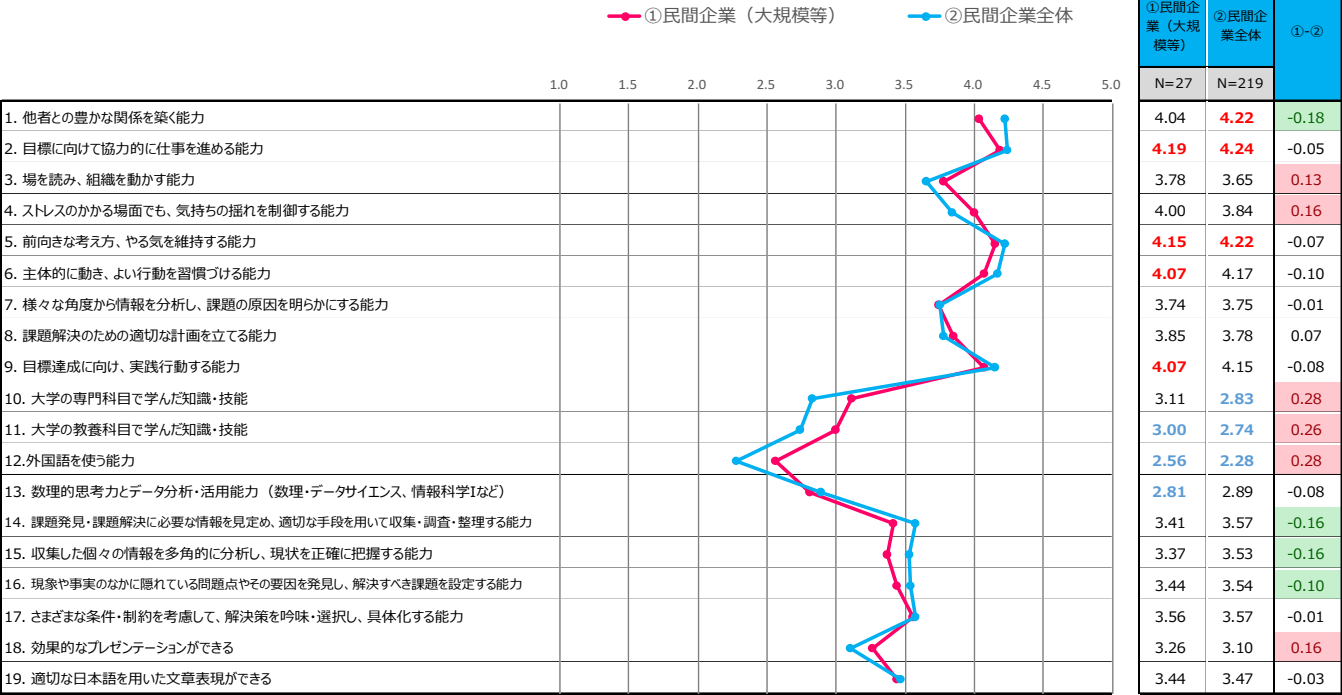
			20%以上	10%以上 20%未満	5%未満			70%以上	30%未満
			1. 非常に重視している			1. 非常に重視している+2. ある程度重視している			
項目名	民間企業 (大規模等)	民間企業全体	公務員	民間企業 (大規模等)	民間企業全体	公務員			
	N=27	N=251	N=22	N=27	N=251	N=22			
1.講義や演習等の授業に関する活動	11.1	7.6	-	81.5	57.4	59.1			
2.ゼミや卒業研究に関する活動	11.1	13.1	9.1	77.8	61.8	68.2			
3.資格取得のための学習活動	3.7	5.2	18.2	74.1	58.2	77.3			
4.留学・海外経験	-	0.8	-	40.7	21.5	22.7			
5.部活動・サークル	7.4	13.1	4.5	85.2	71.7	59.1			
6.アルバイト	7.4	16.7	-	81.5	69.3	36.4			
7.ボランティア・地域活動	3.7	6.8	4.5	55.6	52.2	54.5			
8.インターンシップ	7.4	4.8	9.1	63.0	45.4	63.6			
9.友人等との対人関係の構築	25.9	29.1	36.4	96.3	82.5	86.4			

■ 民間企業(大規模等)と民間企業全体の比較(報告書 P32～37)

【必要度について】

若干の差はあるが、1,2,3 の対人基礎力や 4,5,6 の対自己基礎力、8,9,10 の対課題基礎力といったコンピテンシー領域の必要度が高く、次いで、14,15,16,17 のリテラシー領域などが続くという大まかな傾向はどちらの集団も似通っている。

■ Q5_1 必要度：大卒者に求める能力【卒業生の就業実績あり】

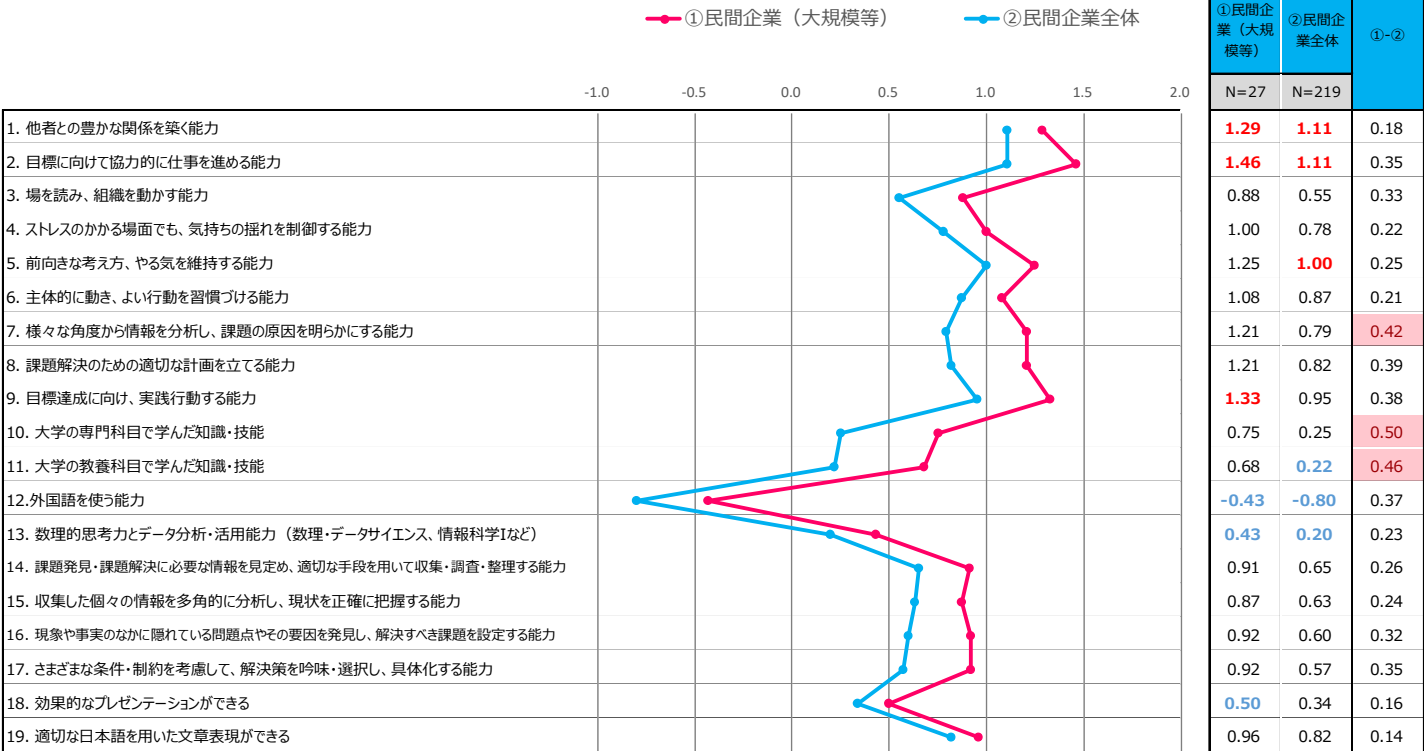


【印象について】

卒業生の印象については、すべての項目で民間企業(大規模等)が上回る結果となっている。

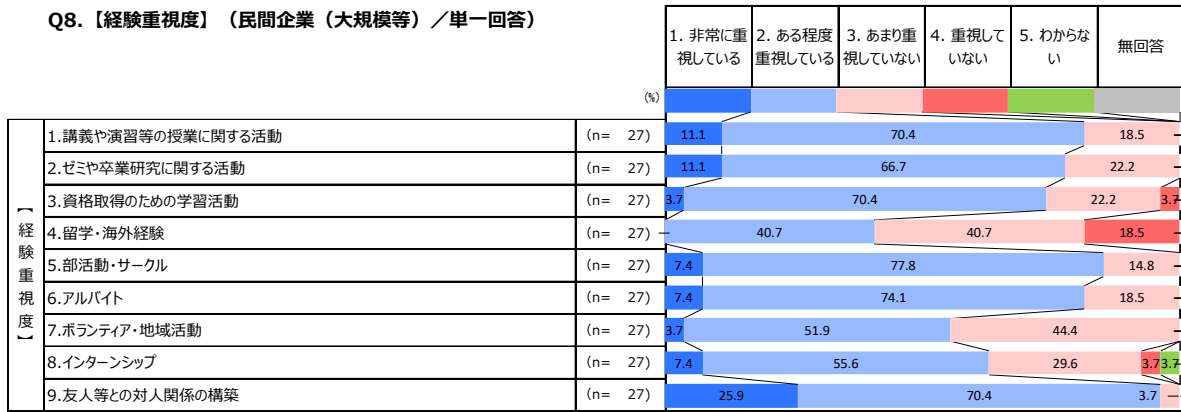
印象の良い(≒評価の高い)項目についても、必要度と似ているが、1,2,3 の対人基礎力や 4,5,6 の対自己基礎力、8,9,10 の対課題基礎力といったコンピテンシー領域の評価が高く、次いで、14,15,16,17 のリテラシー領域などが続く。

■ Q5_3 印象【卒業生の就業実績あり】



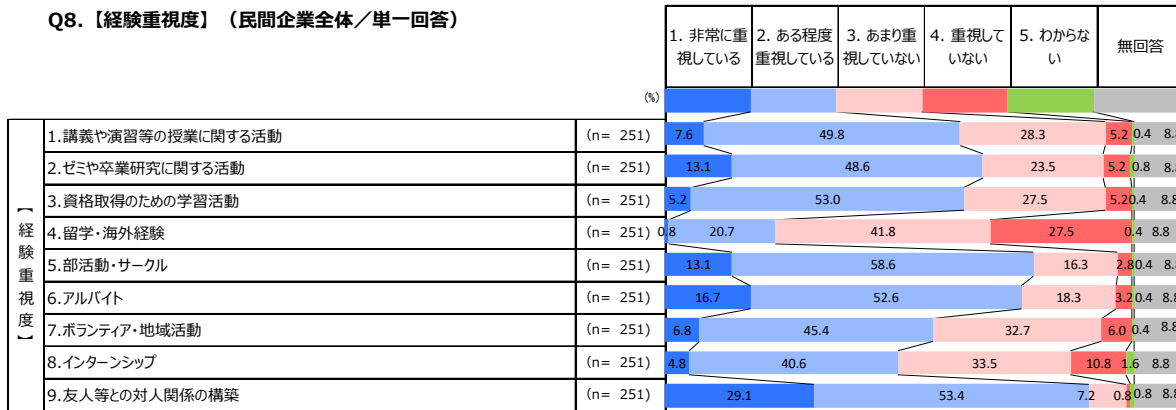
【経験重視度について】(報告書 P35)

Q8.【経験重視度】（民間企業（大規模等）／単一回答）



① + ②	③ + ④
81.5	18.5
77.8	22.2
74.1	25.9
40.7	59.3
85.2	14.8
81.5	18.5
55.6	44.4
63.0	33.3
96.3	3.7

Q8.【経験重視度】（民間企業全体／単一回答）

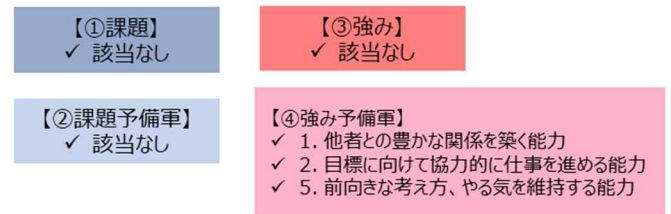
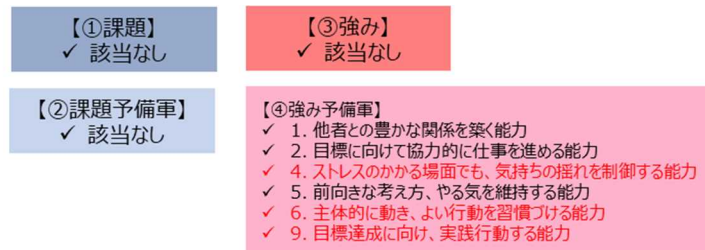


① + ②	③ + ④
57.4	33.5
61.8	28.7
58.2	32.7
21.5	69.3
71.7	19.1
69.3	21.5
52.2	38.6
45.4	44.2
82.5	8.0

【強みと課題(卒業生の印象×必要度)】(報告書 P36)

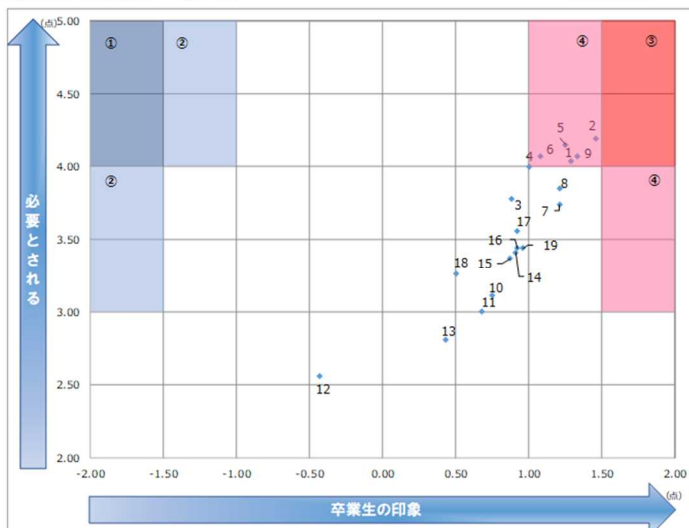
民間企業（大規模等）のみ「④強み予備軍」となっているのは、

「4. ストレスのかかる場面でも、気持ちの揺れを制御する能力」、「6. 主体的に動き、よい行動を習慣づける能力」の対自己基礎力、「9. 目標達成に向け、実践行動する能力」の対課題基礎力のコンピテンシー要素であった。



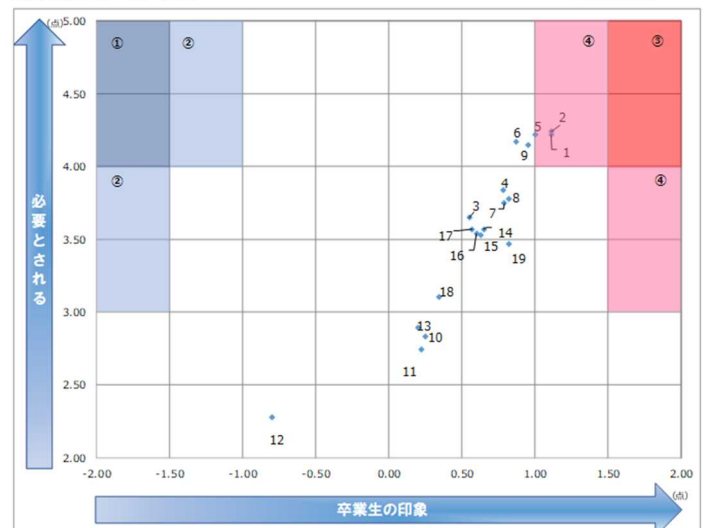
■民間企業（大規模等）（N=27）

*ただし無回答は除く



■民間企業全体（N=219）

*ただし無回答は除く



【まとめ】

調査の結果から、卒業生を受け入れる側である企業・団体(社会)の傾向として、必要度はコンピテンシー(特に対人、対自己)、その次にリテラシーが重視されており、卒業生の印象も必要度と同様の傾向が見られた。

どのような職業についても発揮が求められるジェネリックスキル(≡ポータブルスキル、学士力、社会人基礎力)が、採用段階である程度身に付いていることが期待されている。

しかしながら、

この結果からアカデミックスキル(能力の項目 10～13)の必要性が無いという事にはならない。

理工学部、看護、薬学、医者、獣医などのように国家試験合格が必須、目指す目標が明確な学部や、専門性を活かして研究室や院から就職先を探すという事の方が国内の学部卒者にとっては限定的であり、就業先の業種や職種によっては特定のスキル、能力を重視する場合もあることなども考えられる。

重要なことは、大学生活における対人関係の構築(友人だけでなく教職員も含む)や、卒論、卒業研究や専門ゼミ、討論等の学修体験、専門性を深める学修等を通じて、「リテラシー領域、コンピテンシー領域などのジェネリックスキル(≡ポータブルスキル、学士力、社会人基礎力)も鍛えられる場面は多く存在する」という事を教職員側も学生側も認識をして行動に移すことが大切である。

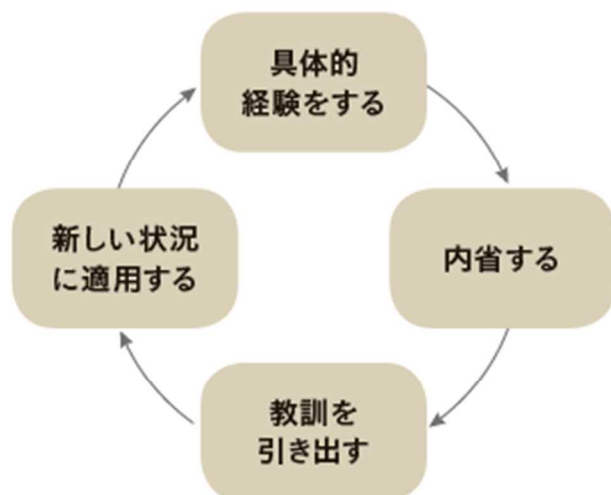
「自分が何を通じてどのような能力が鍛えられているのか」を事前に把握して取り組み、チェックし、振り返り、改善に繋げていくことが重要であるとも考えられる。その認識を高める一つの方法には「振り返り」がもっとも効果的であるとも言われており、意図的に振り返りの機会を設定していくことも重要である。

■ 参考情報

他の統計において就職活動の面接においても「ガクチカ」＝「学生時代に力を入れたこと」をベースに、成功体験や失敗体験から「何を学んで、次にどう行動をとるのか？」という行動特性が重視される項目のひとつでもあることが確認されている。

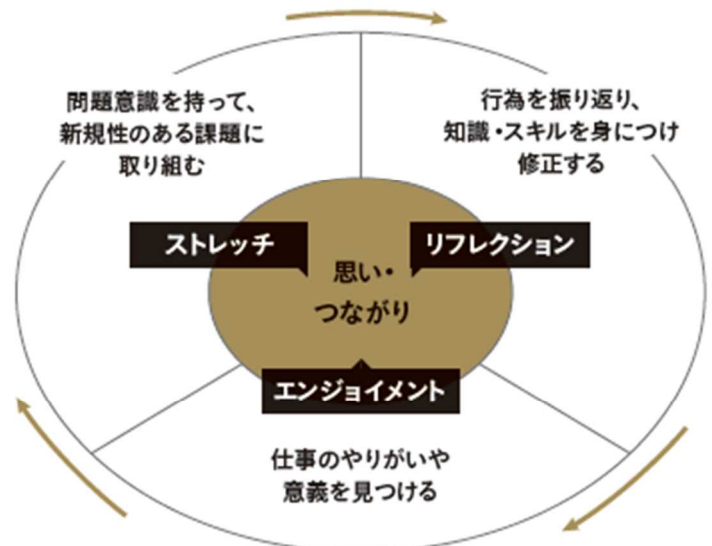
参考)コルブの経験学習サイクル(日本能率協会マネジメント)

図1 経験学習サイクル



出所: コルブ (kolb, 1984) のモデルより作成

図2 経験から学ぶ力の3要素



出所: 松尾隆 『「経験学習」入門』(ダイヤモンド社)

【参考情報・他大学事例】

DPの見直しやカリキュラム改善を目的として、

J大学様では卒業生、企業、教員、在学生の4者間調査を2015年と2021年の2回にわたって実施。

その結果をさらに在学生に還元するための教育改善の仕組みづくりを全学的に行っている。

■ポイント

- ①調査は設問項目を統一して聞くことで、各ステークホルダーの実態やギャップを把握し、特に教員の意識と企業・団体(社会)が求めるギャップが見受けられた項目をあえてDPに取り入れ、カリキュラムマップを改善し、PDCAサイクルを見直す取り組みを行っている。
- ②教職員、学生にDPの浸透や理解を深めるためオリジナルのアセスメントの実施やハンドブックの作成も行っている。
- ③エンロールメント・マネジメントとして入学前から卒業後まで、学生一人ひとりの個性を大切に個別支援体制の構築。

学修ルーブリックの記入や教職員のフィードバックを行う

同大の調査結果では、

特に親和力(コミュニケーション力)のギャップが大きかった。円満な人間関係を作っていく力や、協働して物事を成し遂げる力については、企業側は非常に強く求めていた一方で、教員はそれほど必要性を意識していなかった。

社会に出たらどのようなことが求められているか貴学の実態を把握したうえで、

在学生に還元する際に教職員が意識的に取り組むような仕組みづくりも、調査結果の活用の一つと言える。

■カリキュラムマップ

通教育科目授業科目表(カリキュラムマトリクス)

共通教育科目のカリキュラム								授業を履修して身につく態度・能力(◎一特に重視するもの、○一程度重視するもの) ※能力は「国際能力」「卒業能力」「卒業後能力」「キャリア能力」「生活能力」の5領域					備考
区分	ナンバリング	授業科目名	単位数	履修年次	授業形態	開講期区分	開講キャンパス	全学ディプロマ・ポリシー					
								態度		能力			
								国際的視野	美的探究	研鑽力	行動力	協働力	
基礎 4単位 共通 科目	GU1101	実践入門セミナー(必修)	2	1	演習	前期	渋谷/日野			○	○	○	
	GU2101	実践キャリアプランニング(必修)	2	2	講義	前期・後期	渋谷/日野		○			○	
	GU1102	Integrated English a(必修)	1	1	演習	前期・後期	渋谷/日野	○			○	○	
	GU1103	Integrated English b(必修)	1	1	演習	前期・後期	渋谷/日野	○			○	○	
キャリア 教育 科目	GU1104	情報リテラシー基礎1(必修)	1	1	演習	前期	渋谷/日野			○		○	
	GU3201	キャリアデザイン	2	3	講義	前期	渋谷/日野				○	○	
	GU3202	グローバル・キャリアデザイン	2	3	演習	後期	渋谷/日野	◎		○		○	
	GU3203	インターンシップ演習	1	3	演習	前期	渋谷/日野					◎	
	GU3204	インターンシップ	1	3	実習	前期集中	渋谷/日野				◎	○	
	GU3205	キャリア開発実践講座	2	3	演習	過半数集中	渋谷/日野			○		○	
	GU4201	ビジネスのスキルとマナー	2	3	講義	後期	渋谷/日野			○		○	
	GU2201	国際理解とキャリア形成	2	2~	講義	前期	渋谷/日野	◎		○		○	
	GU2202	女性とキャリア形成	2	2~	講義	前期・後期	渋谷/日野				◎	○	
	GU3206	ライフデザイン	2	3~	講義	前期・後期	渋谷/日野			○		○	
	GU1201	Academic Writing	1	1~	演習	前期・後期	渋谷/日野	○					○

情報リテラシー基礎1

情報化社会における基礎力修得

担当教員全員

1年 前期 1単位

◎：行動力 ○：国際的視野、研鑽力

【授業のテーマ】

本学での学習活動(レポート・資料等の作成)をはじめ、情報化社会で生活する上で欠かすことのできない情報リテラシーを学びます。情報リテラシーとは、コンピュータを使ってさまざまな情報を集めたり、それを役立てたりする能力のことです。

【授業における到達目標】

本学における情報環境を理解し、学内・学外を問わずコンピュータ、インターネットを活用し、レポート作成において

【履修要項】

【シラバス】

■実践女子カテスト



■PDCAサイクルの概要



※PROGテストをオリジナル化

麻布大学 御中

麻布大学 企業調査結果報告書 (2023年2月調査)

2023/8/31
株式会社リアセック

目次

■ 調査概要	P3	■ IV.民間企業(大規模等)と民間企業全体の比較	P32
■ 調査対象について	P4	■ 必要度と印象	P33-P34
■ 調査票	P5-P7	■ 経験重視度	P35
		■ 強みと課題	P36
■ I.民間企業(大規模等)サマリ	P8	■ 「出る杭を引き出す教育プログラム」への関心	P37
■ 必要度と印象	P9-P11		
■ 経験重視度	P12		
■ 強みと課題	P13-P15	■ V.公務員と民間企業全体の比較	P38
		■ 必要度と印象	P39-P40
■ II.民間企業全体サマリ	P16	■ 経験重視度	P41
■ 必要度と印象	P17-P19	■ 強みと課題	P42
■ 経験重視度	P20	■ 「出る杭を引き出す教育プログラム」への関心	P43
■ 強みと課題	P21-P23		
■ III.公務員サマリ	P24		
■ 必要度と印象	P25-P27		
■ 経験重視度	P28		
■ 強みと課題	P29-P31		

調査概要

- 調査目的：主に基礎力の視点から、卒業生の輩出先である企業(産業界)が求める能力並びに卒業生の印象を明らかにする
- 調査対象：麻布アライアンス企業をはじめ、過去に就職実績のある企業・地方公共団体
- 調査方法：インターネットによるアンケート調査
- 調査期間：2023年2月13日～2023年2月28日
- 調査数：44社
- 集計対象数：39社（うち11社は別途調査を行い、回収した）
- 回収率：88.6%

※2022年8月にも上記の対象以外の企業・団体に対して調査を実施しており、比較・分析の対象としている。



【この調査項目のベースとなる能力要素(設問5について)】

左記の「社会で求められる能力要素」を使用しています。

この能力要素の特徴は、

- ・すでに産業界からのニーズを検証済であること
- ・ダブリ・重なりがなく、体系として既に纏めていること
- ・独自のライブラリーとして詳細な要素の内容／記述化されたレベル内容を構築済

であることが挙げられ、調査結果を通じて、今後の大学での教育・在学生への指導の検討材料となることを想定しています。
(在学生のアセスメントPROGで利用)

※P5の設問票一覧で各設問の能力分類を示しています。

分析対象について

2022年8月、2023年2月に企業・団体に調査を行い、全回収Nは425件であった。
今回の分析対象とした3つの集団については下記のように定義している。

① 民間企業(大規模等)

2023年2月調査の回答企業・団体のうち、民間の企業。27件。

② 民間企業全体

①に加えて、2022年8月調査の回答企業・団体のうち、動物病院,NOSAI,医療福祉を除く民間企業。219件。

③ 公務員

2022年8月、2023年2月の調査の回答企業・団体のうち、公務員。20件。

※上記のN数は、全て「Q5-3の卒業生の印象」まで回答しているもの。

調査票

設問番号	設問文	選択肢番号	選択肢ラベル
Q1	貴社名をご記入ください		(社名記入)
Q2-1	業種をご回答ください。(大分類)		1公務員 2製造業 3情報通信業 4卸売・小売業 5宿泊業・飲食サービス業 6医療・福祉 7教育学修支援(学校教育、動物園・水族館など) 8保険業(N O S A I) 9サービス・その他(実験動物関連、動物病院、学術・開発研究機関など) 10上記以外(記入)
Q2-2	業種をご回答ください。(中分類)		1国家 2都道府県 3市区町村 4食料品製造業 5飲料・たばこ・飼料製造業 6化学工業 7卸売 8小売 9ペットショップ 10病院 11診療所 12その他の医療(臨床検査所・治験等) 13学校教育 14動物園・水族館 15N O S A I 16実験動物関連 17動物病院 18学術・開発研究機関 19その他のサービス業
Q3	従業員規模をご回答ください。		19人以下 210～49人以下 350～99人以下 4100～299人以下 5300～999人 61000～4999人 75000人以上
Q4	本社の所在地を一つ選択してください。		1北海道 2青森県 3岩手県 46鹿児島県 47沖縄県 その他

※能力の設問について
1～17の項目はジェネ
リックススキル(汎用的技
能)を中心に設計された
PROG白書2021で用
いられているフレームを
利用。

↓能力の分類	設問番号	設問文	選択肢番号	選択肢ラベル
	Q5	大卒者の新規採用者に求める能力と評価についてお伺いします。		
コンピテンシー 対人基礎力	1 2 3	1 他者との豊かな関係を築く能力 2 目標に向けて協力的に仕事を進める能力 3 場を読み、組織を動かす能力		
コンピテンシー 対自己基礎力	4 5 6	4 ストレスのかかる場面でも、気持ちの揺れを制御する能力 5 前向きな考え方、やる気を維持する能力 6 主体的に動き、よい行動を習慣づける能力		
コンピテンシー 対課題基礎力	7 8 9	7 様々な角度から情報を分析し、課題の原因を明らかにする能力 8 課題解決のための適切な計画を立てる能力 9 目標達成に向け、実践行動する能力		
アカデミックスキル	10 11 12 13	10 大学の専門科目で学んだ知識・技能 11 大学の教養科目で学んだ知識・技能 12 外国語を使う能力 13 数理的思考力とデータ分析・活用能力（数理・データサイエンス、情報科学Iなど）		
リテラシー	14 15 16 17	14 課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・調査・整理する能力 15 収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握する能力 16 現象や事実のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定する能力 17 さまざまな条件・制約を考慮して、解決策を吟味・選択し、具体化する能力		
その他	18 19	18 効果的なプレゼンテーションができる 19 適切な日本語を用いた文章表現ができる		
【表頭】 Q5- 1 貴社が大卒者の新規採用者に対して、以下の能力をどの程度求めていますか。				
【表頭】 Q5-2 貴社に退職者を含め就業経験がある麻布大学の卒業生はいますか。 ⇒ 1.はいとお答えいただいた場合、その印象をご回答ください			1非常に強く求めている 2強く求めている 3求めている 4余り求めていない 5求めていない	
Q5-3 以下の能力について麻布大学の卒業生の印象をご回答ください。			1よく当てはまる 2ある程度当てはまる 3あまり当てはまらない 4まったく当てはまらない 5わからない	
Q6	貴社が本学卒業生と他の同年代の入社（入職）と比較して満足しない点を自由にお書きください。			(自由記述)
Q7	これまでご回答いただいた以外の能力について、貴社が新規大卒者に求めているものはどのようなものがありますか。ご自由にお書きください。			(自由記述)

設問番号	設問文	選択肢番号	選択肢ラベル
Q8 【表側】	貴社が大卒者の新規採用者を評価する場合、在学時の下記の経験をどの程度重視しますか。（選択肢以外に重視するものがあれば、その他にその内容をご記入ください。） 1講義や演習等の授業に関する活動 2ゼミや卒業研究に関する活動 3資格取得のための学習活動 4留学・海外経験 5部活動・サークル 6アルバイト 7ボランティア・地域活動 8インターンシップ 9友人等との対人関係の構築 10その他(記述)	【表側】	1非常に重視している 2ある程度重視している 3あまり重視していない 4重視していない 5わからない
Q9	本学学生への中長期インターンシップ実施について、当てはまるものをご回答ください	【表頭】	1公募・学校指定枠募集ともに実施可能又は希望 2公募のみ実施可能又は希望 3学校指定枠募集のみ実施可能又は希望 4実施しない 5わからない
Q10	Q9で「4.実施しない」又は「5. わからない」と回答された理由について 当てはまるものを回答ください。	【表頭】	1実施予定がない 2実施方法がわからない 3意欲はあるが大学に相談する機会がない 4その他(記述)
Q11	本学は、文部科学省の人材育成事業に基づき、全国の大学で唯一採択された「出る杭を引き出す教育プログラム」に取り組んでいます。学年に縛られず学び、学部と大学院の連携強化により、意欲のある学生に早期の学びの場を提供しています。優秀な学生は早期の単位取得や大学院課程を1年間で修了します。麻布大学の優秀な人材を早く社会に輩出するという育成事業です。このような人材の採用に関心がありますか	【表頭】	1関心がある 2関心がない 3わからない
Q12	これからの麻布大学に期待することがあれば、御記入ください。		(自由記述)
Q13	貴社のご連絡先のご提供について、ご協力をお願いいたします。 ご提供頂いた貴社ご連絡先の利用目的は下記2点になります。 ①今後、本学からの情報提供、調査依頼などのご連絡を行わせていただく場合 ②調査結果に基づきインタビュー調査のご依頼を行わせていただく場合 上記の目的以外には利用いたしませんので、ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。 ご協力いただける方は「協力できます」を選択して次にお進みください。		1協力できます 2協力はできません
Q14	部署名をご記入ください		記述
Q15	役職名をご記入ください		記述

I .民間企業(大規模等)サマリ

必要度と印象 経験重視度

Q5_1.必要度 民間企業(大規模等)

- ✓ 民間企業（大規模等）でみると、全19項目のうち、最も必要度が高いのは、「2. 目標に向けて協力的に仕事を進める能力」、次いで「5.前向きな考え方、やる気を維持する能力」となった。
- ✓ 一方、最も必要度が低いのは、「12.外国語を使う能力」となった。

■ Q5_1 必要度：大卒者に求める能力【卒業生の就業実績あり】



※卒業生の就業実績がある企業のみ

Q5_3.卒業生の印象 民間企業(大規模等)

- ✓ 民間企業（大規模等）でみると、全19項目のうち、最も卒業生の印象が高いのは、「2. 目標に向けて協力的に仕事を進める能力」、次いで「9. 目標達成に向け、実践行動する能力」となった。
- ✓ 一方、最も卒業生の印象が低いのは、「12.外国語を使う能力」で、全項目中で唯一マイナスであった。

■Q5_3 卒業生の印象【卒業生の就業実績あり】

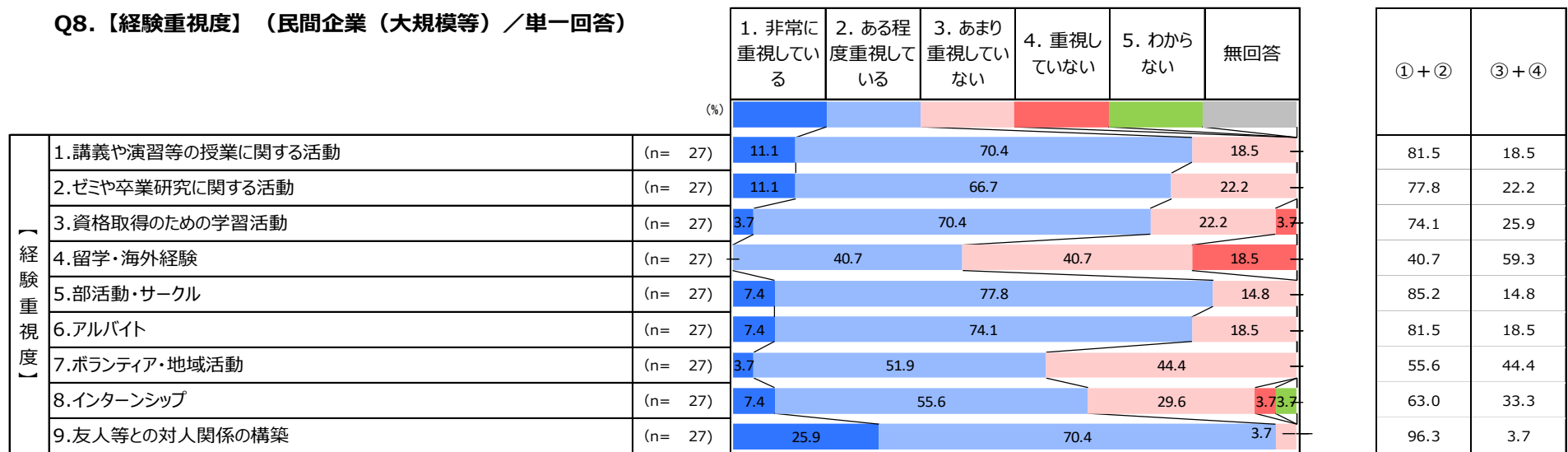


※卒業生の就業実績がある企業のみ

Q8. 経験重視度 民間企業(大規模等)

- ✓ 民間企業（大規模等）でみると、全9項目のうち、最も「非常に重視している」が高いのは、「9.友人等との対人関係の構築」の26%で、「非常に重視している+ある程度重視している計」は96%にのぼる。次いで「非常に重視している」が高いのは、「1.講義や演習等の授業に関する活動」、「2.ゼミや卒業研究に関する活動」（ともに11%）であった。
- ✓ 一方、「非常に重視している」がもっとも低いのは、「4.留学・海外経験」で該当者なし、次いで「3.資格取得のための学習活動」、「7.ボランティア・地域活動」（4%）であった。

Q8.【経験重視度】（民間企業（大規模等）／単一回答）



強みと課題

強みと課題 基本情報

卒業生の就業実績がある企業のみを対象とした。

■ 必要度：新規大卒者に求める能力

非常に強く求めている：5点、強く求めている：4点、求めている：3点、あまり求めていない：2点、求めていない：1点として加重平均値を算出。（無回答は除く）

■ 印象：卒業生の印象

よく当てはまる：2点、ある程度当てはまる：1点、あまり当てはまらない：-1点、まったく当てはまらない：-2点として加重平均値を算出。（わからない、無回答は除く）

【項目名】

1. 他者との豊かな関係を築く能力
2. 目標に向けて協力的に仕事を進める能力
3. 場を読み、組織を動かす能力
4. ストレスのかかる場面でも、気持ちの揺れを制御する能力
5. 前向きな考え方、やる気を維持する能力
6. 主体的に動き、よい行動を習慣づける能力
7. 様々な角度から情報を分析し、課題の原因を明らかにする能力
8. 課題解決のための適切な計画を立てる能力
9. 目標達成に向け、実践行動する能力
10. 大学の専門科目で学んだ知識・技能
11. 大学の教養科目で学んだ知識・技能
12. 外国語を使う能力
13. 数理的思考力とデータ分析・活用能力（数理・データサイエンス、情報科学Iなど）
14. 課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・調査・整理する能力
15. 収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握する能力
16. 現象や事実のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定する能力
17. さまざまな条件・制約を考慮して、解決策を吟味・選択し、具体化する能力
18. 効果的なプレゼンテーションができる
19. 適切な日本語を用いた文章表現ができる

強みと課題（卒業生の印象×必要度）

民間企業(大規模等)

【①課題】
✓ 該当なし

【②課題予備軍】
✓ 該当なし

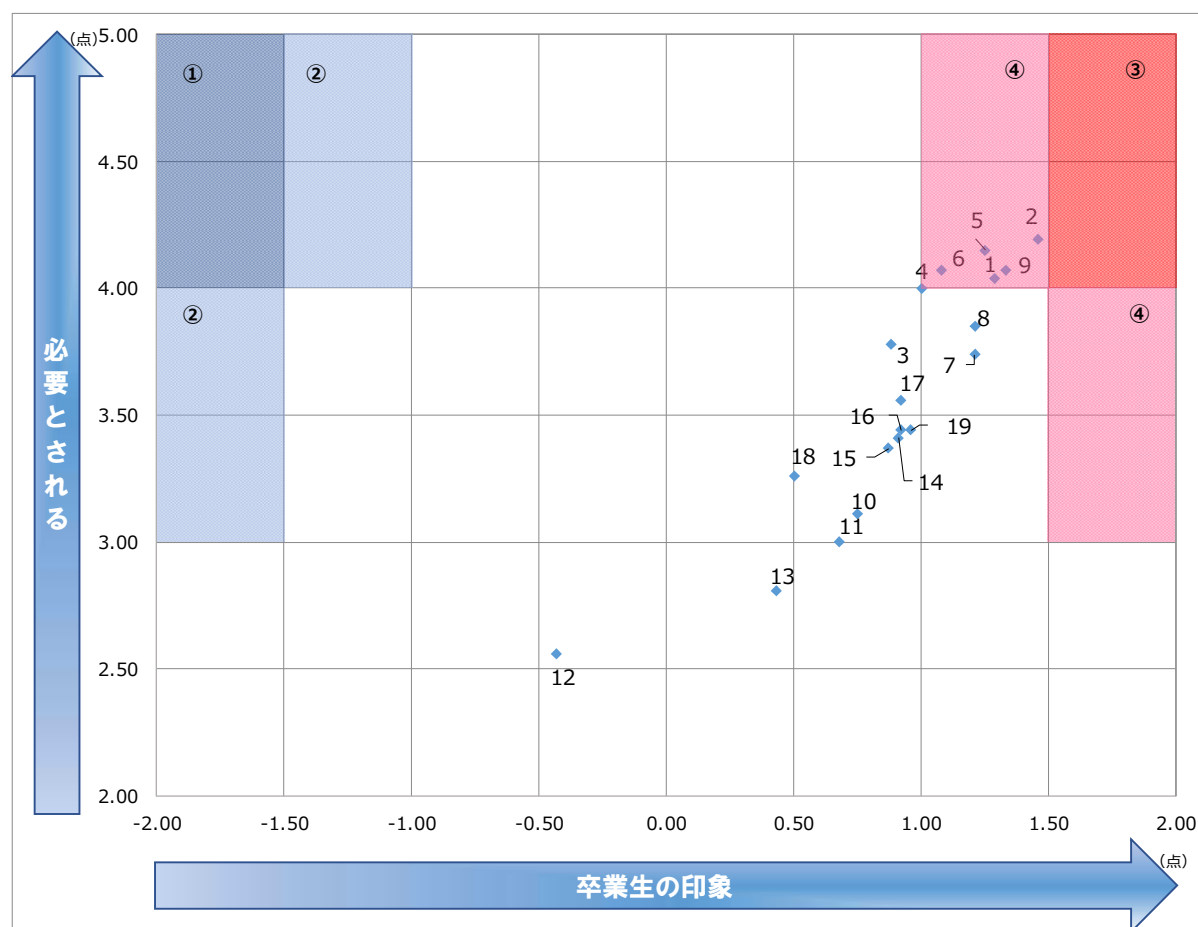
【③強み】
✓ 該当なし

【④強み予備軍】

- ✓ 1. 他者との豊かな関係を築く能力
- ✓ 2. 目標に向けて協力的に仕事を進める能力
- ✓ 4. ストレスのかかる場面でも、気持ちの揺れを制御する能力
- ✓ 5. 前向きな考え方、やる気を維持する能力
- ✓ 6. 主体的に動き、よい行動を習慣づける能力
- ✓ 9. 目標達成に向け、実践行動する能力

■ 民間企業（大規模等）（N=27）

*ただし無回答は除く



※卒業生の就業実績がある企業のみ

Ⅱ.民間企業全体サマリ

必要度と印象 経験重視度

Q5_1.必要度 民間企業全体

- ✓ 民間企業全体でみると、全19項目のうち、最も必要度が高いのは、「2. 目標に向けて協力的に仕事を進める能力」、次いで「1. 他者との豊かな関係を築く能力」、「5.前向きな考え方、やる気を維持する能力」となった。
- ✓ 一方、最も必要度が低いのは、「12.外国語を使う能力」となった。

■ Q5_1 必要度：大卒者に求める能力【卒業生の就業実績あり】



※卒業生の就業実績がある企業のみ

Q5_3.卒業生の印象 民間企業全体

- ✓ 民間企業（大規模等）でみると、全19項目のうち、最も卒業生の印象が高いのは、「1. 他者との豊かな関係を築く能力」、「2. 目標に向けて協力的に仕事を進める能力」、次いで「5.前向きな考え方、やる気を維持する能力」となった。
- ✓ 一方、最も卒業生の印象が低いのは、「12.外国語を使う能力」で、全項目中で唯一マイナスであった。

■Q5_3 卒業生の印象【卒業生の就業実績あり】

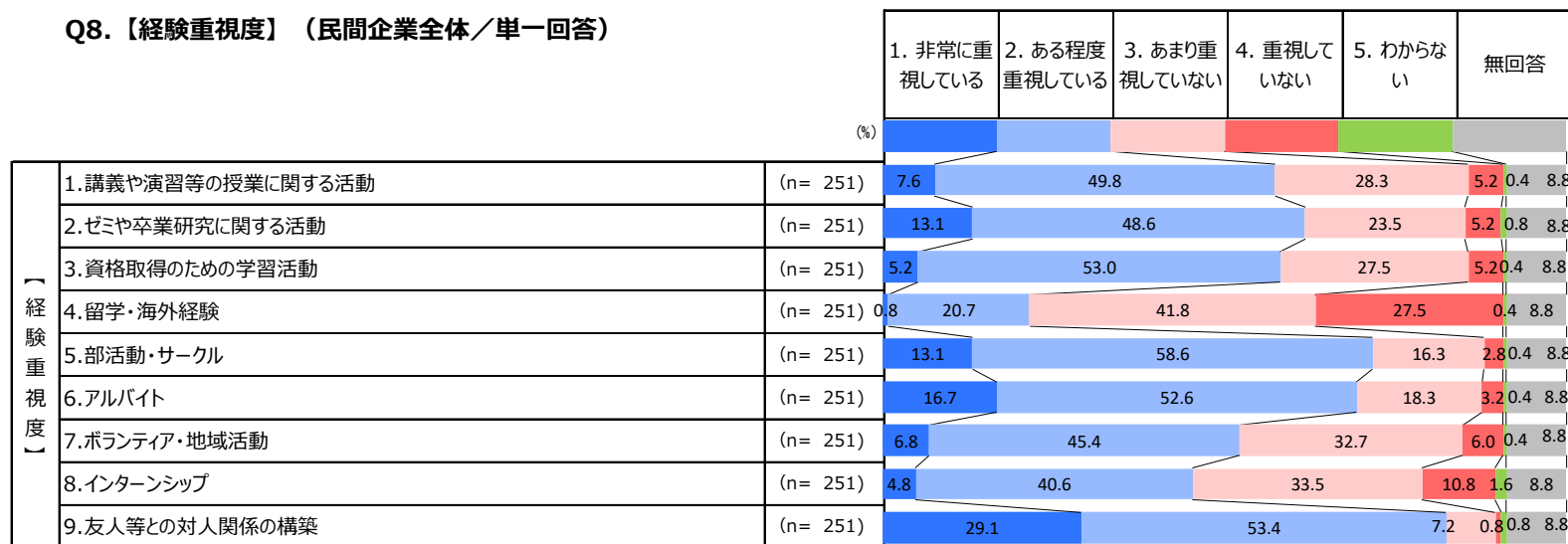


※卒業生の就業実績がある企業のみ

Q8. 経験重視度 民間企業全体

- ✓ 民間企業全体でみると、全9項目のうち、最も「非常に重視している」が高いのは、「9.友人等との対人関係の構築」の29%で、「非常に重視している+ある程度重視している計」は83%にのぼる。次いで「非常に重視している」が高いのは、「6.アルバイト（17%）」であった。
- ✓ 一方、「非常に重視している」がもっとも低いのは、「4.留学・海外経験（1%）」、次いで「8.インターンシップ（5%）」であった。

Q8.【経験重視度】（民間企業全体／単一回答）



① + ②	③ + ④
57.4	33.5
61.8	28.7
58.2	32.7
21.5	69.3
71.7	19.1
69.3	21.5
52.2	38.6
45.4	44.2
82.5	8.0

強みと課題

強みと課題 基本情報

卒業生の就業実績がある企業のみを対象とした。

■ 必要度：新規大卒者に求める能力

非常に強く求めている：5点、強く求めている：4点、求めている：3点、あまり求めていない：2点、求めていない：1点として加重平均値を算出。（無回答は除く）

■ 印象：卒業生の印象

よく当てはまる：2点、ある程度当てはまる：1点、あまり当てはまらない：-1点、まったく当てはまらない：-2点として加重平均値を算出。（わからない、無回答は除く）

【項目名】

1. 他者との豊かな関係を築く能力
2. 目標に向けて協力的に仕事を進める能力
3. 場を読み、組織を動かす能力
4. ストレスのかかる場面でも、気持ちの揺れを制御する能力
5. 前向きな考え方、やる気を維持する能力
6. 主体的に動き、よい行動を習慣づける能力
7. 様々な角度から情報を分析し、課題の原因を明らかにする能力
8. 課題解決のための適切な計画を立てる能力
9. 目標達成に向け、実践行動する能力
10. 大学の専門科目で学んだ知識・技能
11. 大学の教養科目で学んだ知識・技能
12. 外国語を使う能力
13. 数理的思考力とデータ分析・活用能力（数理・データサイエンス、情報科学Iなど）
14. 課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・調査・整理する能力
15. 収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握する能力
16. 現象や事実のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定する能力
17. さまざまな条件・制約を考慮して、解決策を吟味・選択し、具体化する能力
18. 効果的なプレゼンテーションができる
19. 適切な日本語を用いた文章表現ができる

強みと課題（卒業生の印象×必要度）

民間企業全体

【①課題】
✓ 該当なし

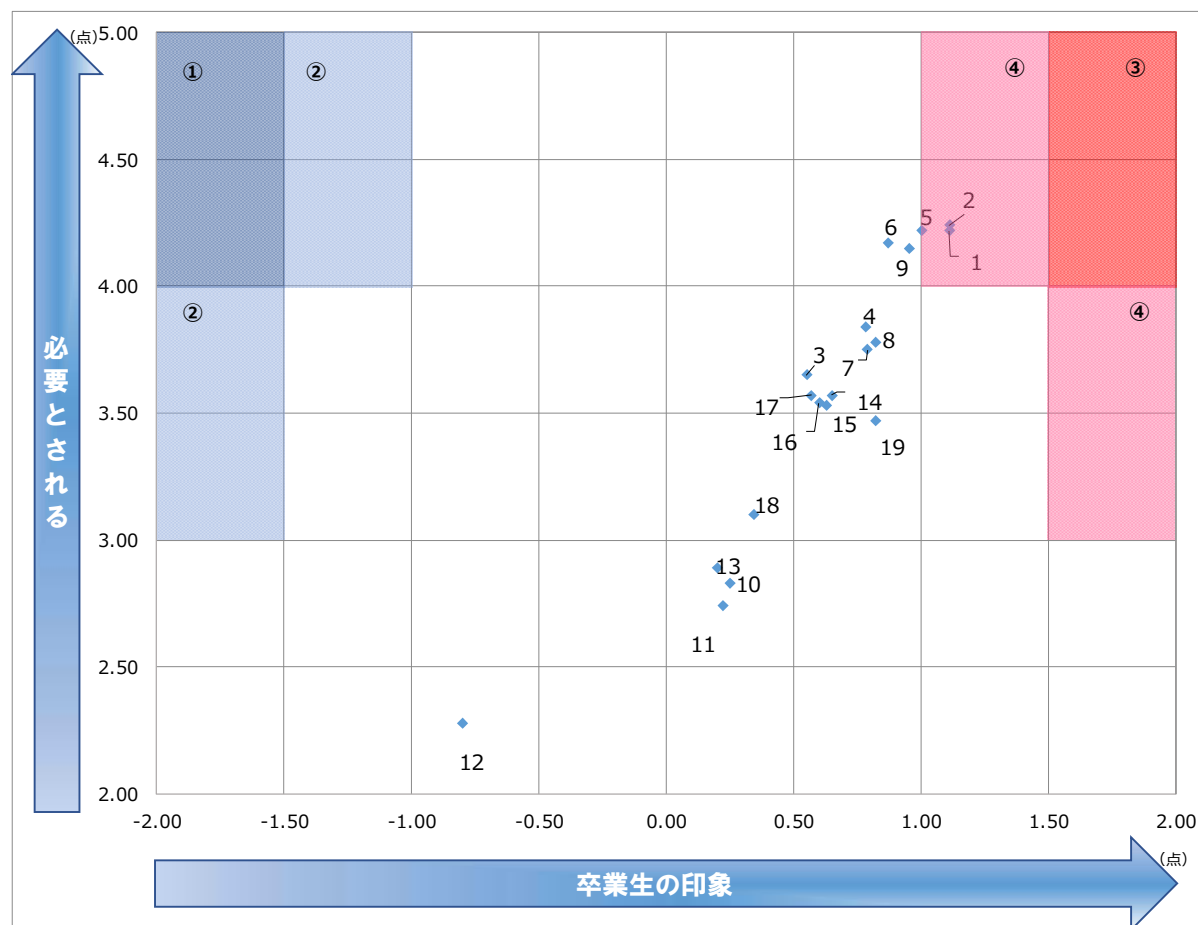
【②課題予備軍】
✓ 該当なし

【③強み】
✓ 該当なし

【④強み予備軍】
✓ 1. 他者との豊かな関係を築く能力
✓ 2. 目標に向けて協力的に仕事を進める能力
✓ 5. 前向きな考え方、やる気を維持する能力

■ 民間企業全体 (N=219)

*ただし無回答は除く



※卒業生の就業実績がある企業のみ

Ⅲ.公務員サマリ

必要度と印象 経験重視度

Q5_1.必要度 公務員

- ✓ 公務員でみると、全19項目のうち、最も必要度が高いのは、「1. 他者との豊かな関係を築く能力」、次いで「2. 目標に向けて協力的に仕事を進める能力」となった。
- ✓ 一方、最も必要度が低いのは、「12.外国語を使う能力」となった。

■ Q5_1 必要度：大卒者に求める能力【卒業生の就業実績あり】



※卒業生の就業実績がある企業のみ

※非常に強く求めている：5点、強く求めている：4点、求めている：3点、余り求めていない：2点、求めていない：1点として加重平均値を算出。（無回答は除く）

Q5_3.卒業生の印象 公務員

- ✓ 公務員でみると、全19項目のうち、最も卒業生の印象が高いのは、「9. 目標達成に向け、実践行動する能力」、次いで「1. 他者との豊かな関係を築く能力」となった。
- ✓ 一方、最も卒業生の印象が低いのは、「12.外国語を使う能力」であった。

■Q5_3 卒業生の印象【卒業生の就業実績あり】

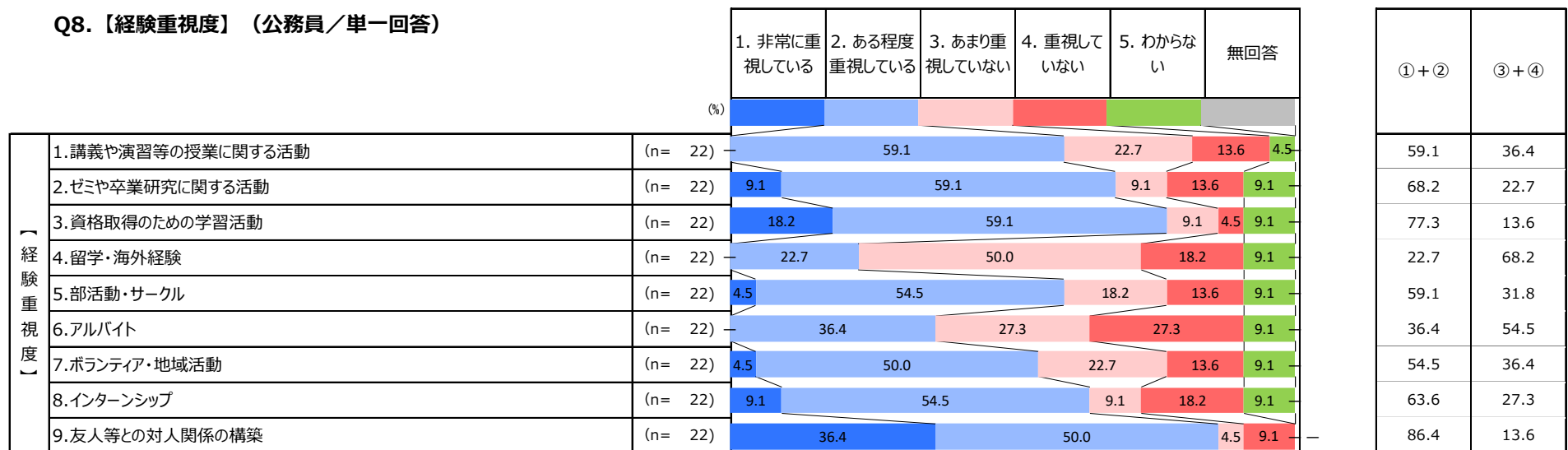


※卒業生の就業実績がある企業のみ

Q8. 経験重視度 公務員

- ✓ 公務員でみると、全9項目のうち、最も「非常に重視している」が高いのは、「9.友人等との対人関係の構築」の36%で、「非常に重視している+ある程度重視している計」は86%にのぼる。次いで「非常に重視している」が高いのは、「3.資格取得のための学習活動（18%）」であった。
- ✓ 一方、「非常に重視している」がもっとも低いのは、「1.講義や演習等の授業に関する活動」、「4.留学・海外経験」、「6.アルバイト」、で該当者なしであった。

Q8.【経験重視度】（公務員／単一回答）



強みと課題

強みと課題 基本情報

卒業生の就業実績がある企業のみを対象とした。

■ 必要度：新規大卒者に求める能力

非常に強く求めている：5点、強く求めている：4点、求めている：3点、あまり求めていない：2点、求めていない：1点として加重平均値を算出。（無回答は除く）

■ 印象：卒業生の印象

よく当てはまる：2点、ある程度当てはまる：1点、あまり当てはまらない：-1点、まったく当てはまらない：-2点として加重平均値を算出。（わからない、無回答は除く）

【項目名】

1. 他者との豊かな関係を築く能力
2. 目標に向けて協力的に仕事を進める能力
3. 場を読み、組織を動かす能力
4. ストレスのかかる場面でも、気持ちの揺れを制御する能力
5. 前向きな考え方、やる気を維持する能力
6. 主体的に動き、よい行動を習慣づける能力
7. 様々な角度から情報を分析し、課題の原因を明らかにする能力
8. 課題解決のための適切な計画を立てる能力
9. 目標達成に向け、実践行動する能力
10. 大学の専門科目で学んだ知識・技能
11. 大学の教養科目で学んだ知識・技能
12. 外国語を使う能力
13. 数理的思考力とデータ分析・活用能力（数理・データサイエンス、情報科学Iなど）
14. 課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・調査・整理する能力
15. 収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握する能力
16. 現象や事実のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定する能力
17. さまざまな条件・制約を考慮して、解決策を吟味・選択し、具体化する能力
18. 効果的なプレゼンテーションができる
19. 適切な日本語を用いた文章表現ができる

強みと課題（卒業生の印象×必要度） 公務員

【①課題】
✓ 該当なし

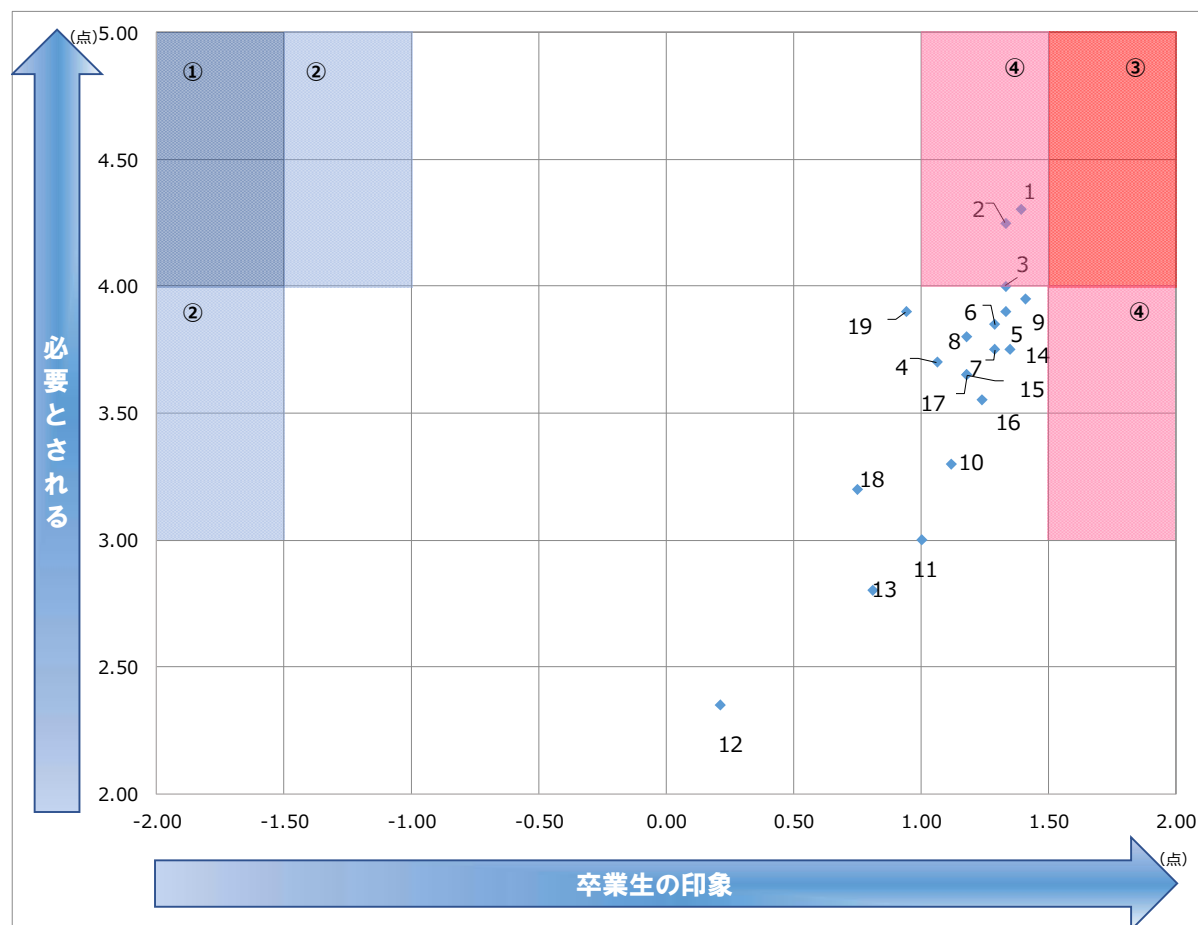
【②課題予備軍】
✓ 該当なし

【③強み】
✓ 該当なし

【④強み予備軍】
✓ 1. 他者との豊かな関係を築く能力
✓ 2. 目標に向けて協力的に仕事を進める能力
✓ 3. 場を読み、組織を動かす能力

■ 公務員 (N=20)

*ただし無回答は除く



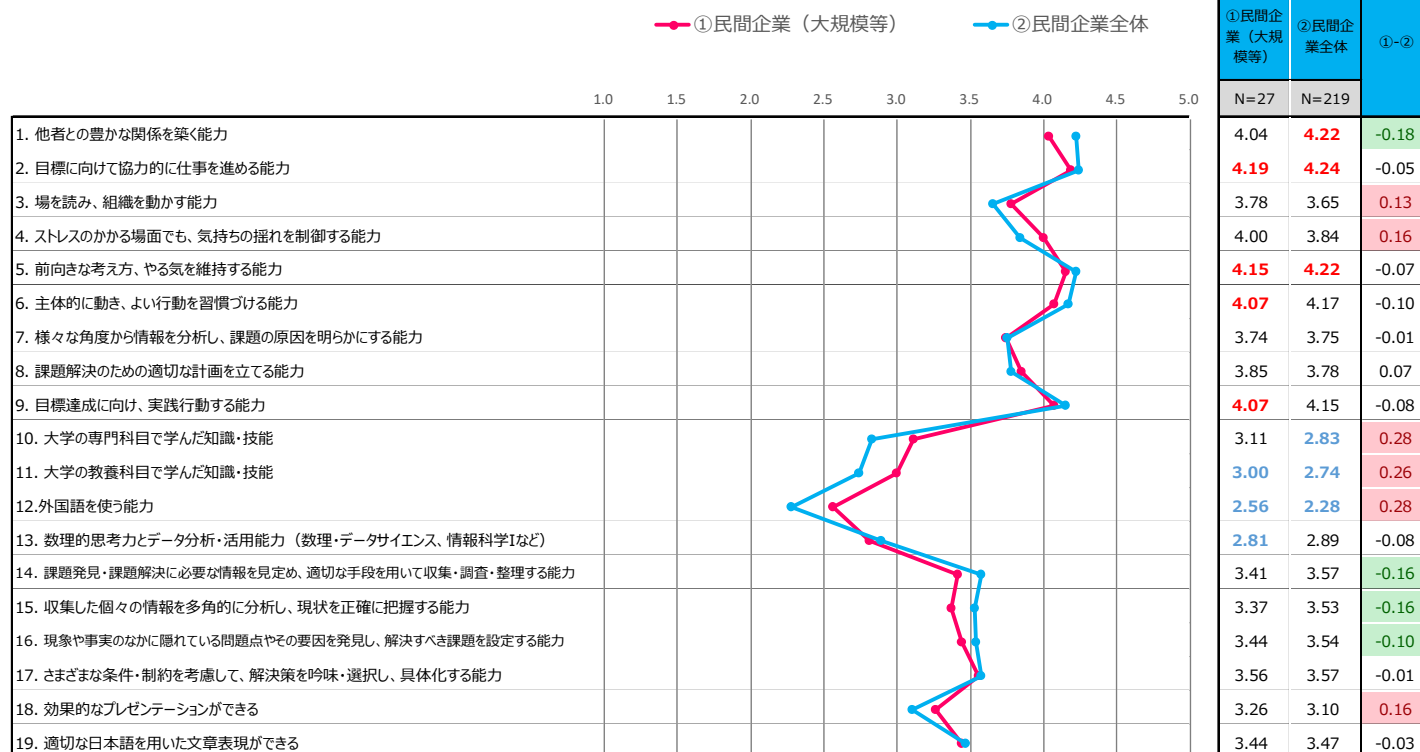
※卒業生の就業実績がある企業のみ

IV.民間企業(大規模等)と 民間企業全体の比較

Q5_1.必要度 民間企業(大規模等)と民間企業全体の比較

- ✓ 民間企業（大規模等）と民間企業全体とで必要度を比較した。
- ✓ 民間企業（大規模等）が民間企業全体を0.1以上上回っているのは、「3. 場を読み、組織を動かす能力」、「4. ストレスのかかる場面でも、気持ちの揺れを制御する能力」、「10. 大学の専門科目で学んだ知識・技能」、「11. 大学の教養科目で学んだ知識・技能」、「12.外国語を使う能力」、「18. 効果的なプレゼンテーションができる」であった。
- ✓ 民間企業全体が民間企業（大規模等）を0.1以上上回っているのは、「1. 他者との豊かな関係を築く能力」、「14. 課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・調査・整理する能力」、「15. 収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握する能力」、「16. 現象や事実のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定する能力」であった。

■ Q5_1 必要度：大卒者に求める能力【卒業生の就業実績あり】



①が②を0.1以上上回る

②が①を0.1以上上回る

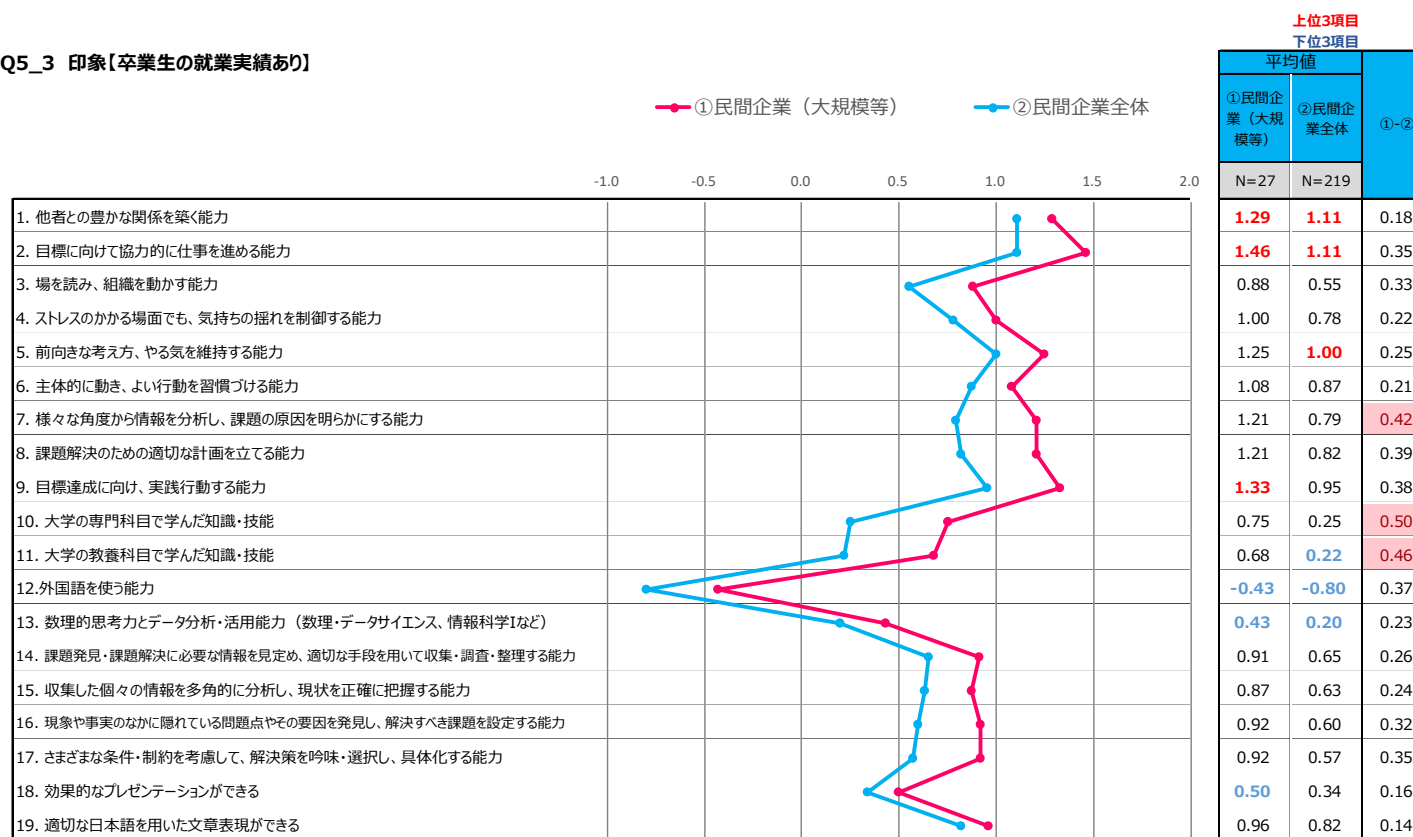
※卒業生の就業実績がある企業のみ

※非常に強く求めている：5点、強く求めている：4点、求めている：3点、余り求めていない：2点、求めていない：1点として加重平均値を算出。（無回答は除く）

Q5_3.卒業生の印象 民間企業(大規模等)と民間企業全体の比較

- ✓ 民間企業（大規模等）と民間企業全体とで印象を比較した。
- ✓ すべての項目で、民間企業（大規模等）が民間企業全体を上回っている。
- ✓ 特にその差が大きい項目のTOP3は、「10. 大学の専門科目で学んだ知識・技能」、「11. 大学の教養科目で学んだ知識・技能」、「7. 様々な角度から情報を分析し、課題の原因を明らかにする能力」であった。

■ Q5_3 印象【卒業生の就業実績あり】



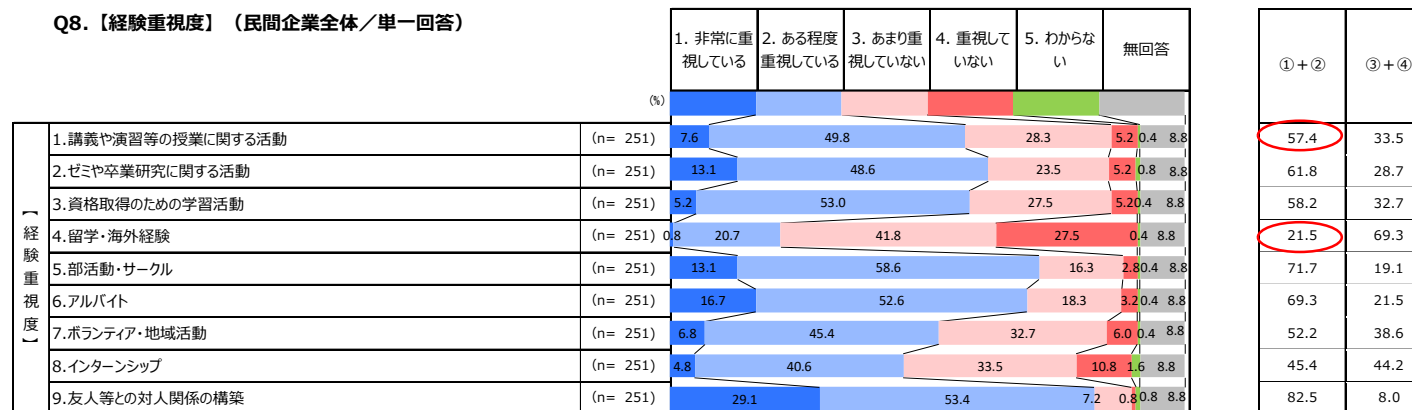
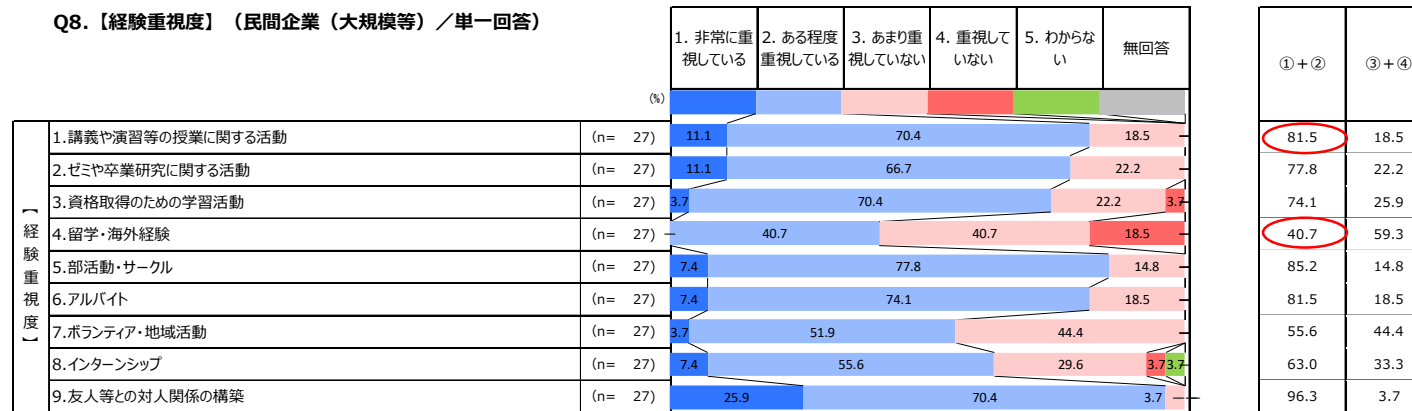
差が大きい
TOP 3

※ 卒業生の就業実績がある企業のみ

※よく当てはまる：2点、ある程度当てはまる：1点、あまり当てはまらない：-1点、まったく当てはまらない：-2点、として加重平均値を算出。（わからない、無回答は除く）

Q8. 経験重視度 民間企業(大規模等)と民間企業全体の比較

- ✓ 「①+②（非常に重視している+ある程度重視しているの合計）」を比較してみると、すべての項目について民間企業（大規模等）のほうが高く、「7. ボランティア・地域活動」を除くすべての項目で10pt以上の差がある。これら経験について民間企業（大規模等）のほうが、より重視していることがわかる。特に「1. 講義や演習等の授業に関する活動」では、民間企業（大規模等）が民間企業全体を24pt上回っている。
- ✓ 「4. 留学・海外経験」は、民間企業（大規模等）、民間企業全体ともに「非常に重視している」は9項目中もっとも低い、「①+②（非常に重視している+ある程度重視しているの合計）」を比較してみると、民間企業（大規模等）が民間企業全体を19pt上回っている。



強みと課題（卒業生の印象×必要度） 民間企業(大規模等)と民間企業全体の比較

- ✓ 民間企業（大規模等）、民間企業全体で共通して「④強み予備軍」となっているのは、「1. 他者との豊かな関係を築く能力」、「2. 目標に向けて協力的に仕事を進める能力」、「5. 前向きな考え方、やる気を維持する能力」であった。
- ✓ 民間企業（大規模等）のみ「④強み予備軍」となっているのは「4. ストレスのかかる場面でも、気持ちの揺れを制御する能力」、「6. 主体的に動き、よい行動を習慣づける能力」、「9. 目標達成に向け、実践行動する能力」であった。

【①課題】
✓ 該当なし

【③強み】
✓ 該当なし

【②課題予備軍】
✓ 該当なし

【④強み予備軍】
 ✓ 1. 他者との豊かな関係を築く能力
 ✓ 2. 目標に向けて協力的に仕事を進める能力
 ✓ 4. ストレスのかかる場面でも、気持ちの揺れを制御する能力
 ✓ 5. 前向きな考え方、やる気を維持する能力
 ✓ 6. 主体的に動き、よい行動を習慣づける能力
 ✓ 9. 目標達成に向け、実践行動する能力

【①課題】
✓ 該当なし

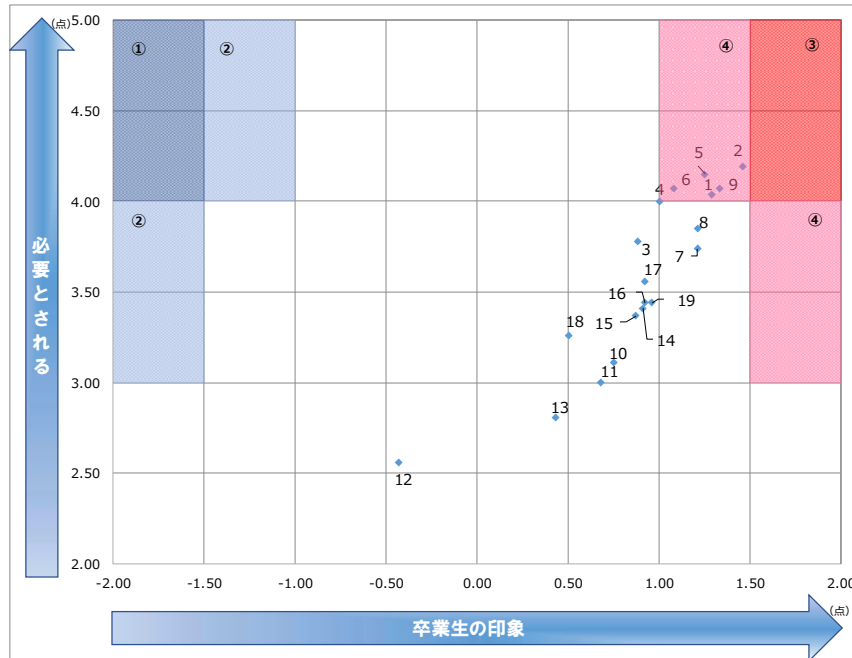
【③強み】
✓ 該当なし

【②課題予備軍】
✓ 該当なし

【④強み予備軍】
 ✓ 1. 他者との豊かな関係を築く能力
 ✓ 2. 目標に向けて協力的に仕事を進める能力
 ✓ 5. 前向きな考え方、やる気を維持する能力

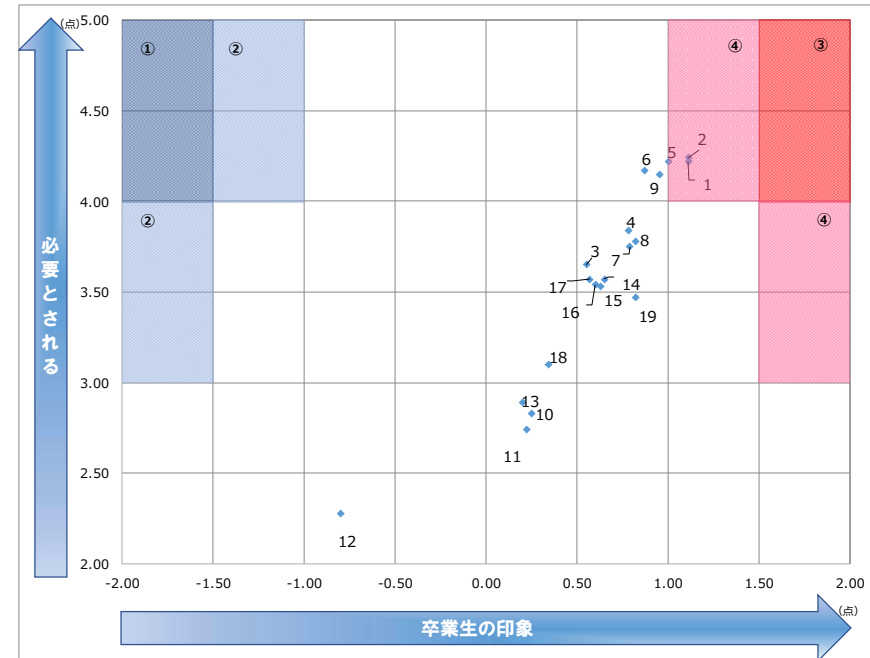
■民間企業（大規模等）（N=27）

*ただし無回答は除く



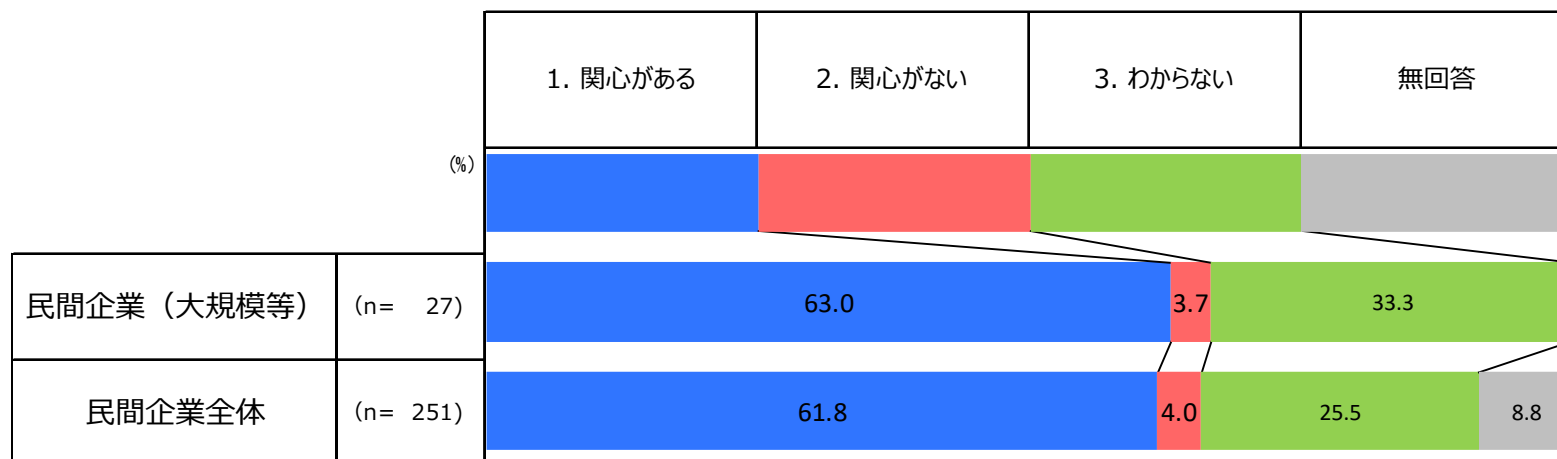
■民間企業全体（N=219）

*ただし無回答は除く



Q11. 本学独自の人材育成プログラムを修了した人材の採用について

- ✓ 民間企業（大規模等）、民間企業全体ともに「関心がある」は6割超、「関心がない」は4%で同じ傾向であった。



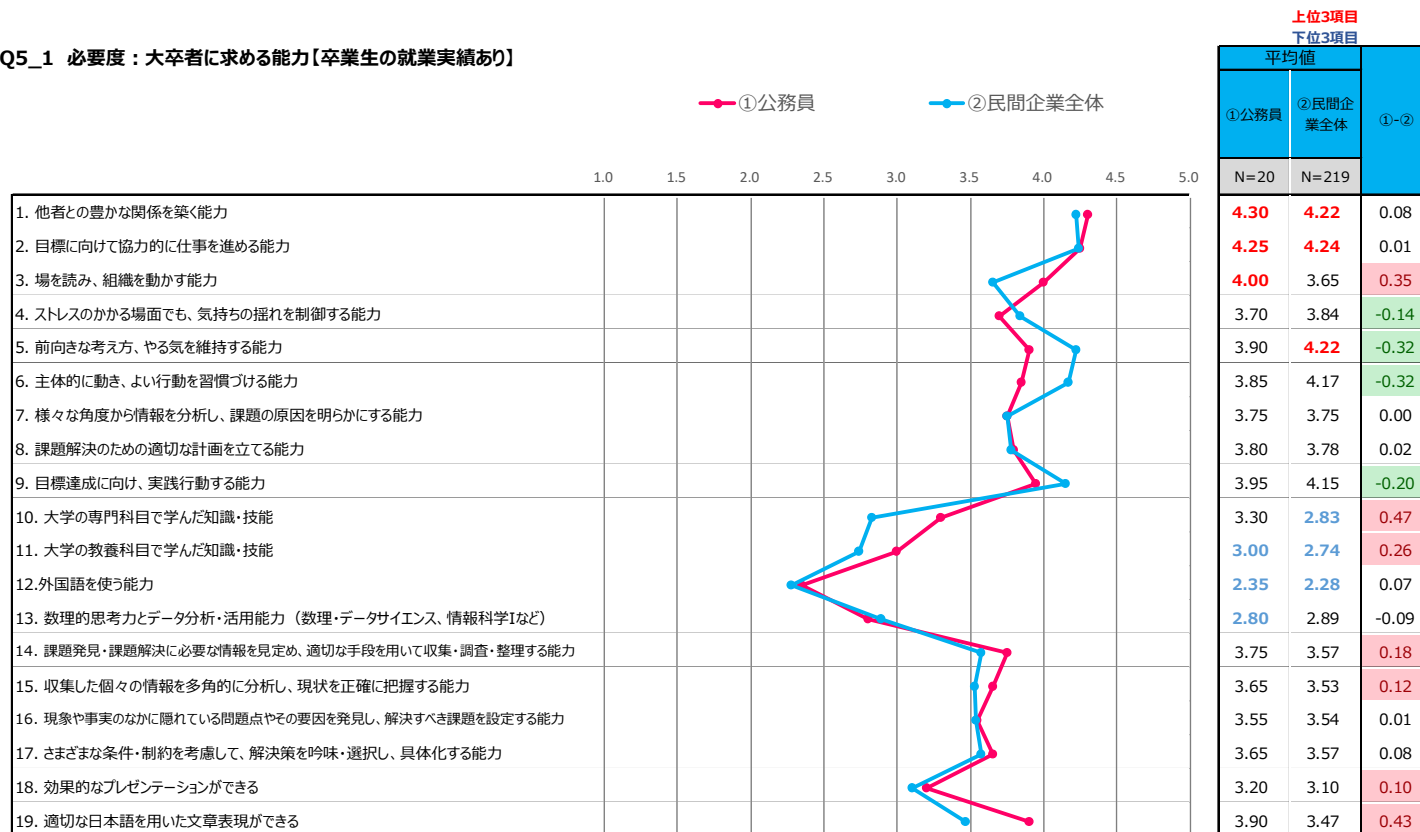
V. 公務員と民間企業全体の比較

※公務員は $n = 30$ 未満のため参考程度にお考え下さい

Q5_1.必要度 公務員と民間企業全体の比較

- ✓ 公務員と民間企業全体とで必要度を比較した。
- ✓ 公務員が民間企業全体を0.1以上上回っているのは、「3. 場を読み、組織を動かす能力」、「10. 大学の専門科目で学んだ知識・技能」、「11. 大学の教養科目で学んだ知識・技能」、「14. 課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・調査・整理する能力」、「15. 収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握する能力」、「18. 効果的なプレゼンテーションができる」、「19. 適切な日本語を用いた文章表現ができる」であった。
- ✓ 民間企業全体が公務員を0.1以上上回っているのは、「4. ストレスのかかる場面でも、気持ちの揺れを制御する能力」、「5. 前向きな考え方、やる気を維持する能力」、「6. 主体的に動き、よい行動を習慣づける能力」、「9. 目標達成に向け、実践行動する能力」であった。

■Q5_1 必要度：大卒者に求める能力【卒業生の就業実績あり】



①が②を0.1以上
上回る

②が①を0.1以上
上回る

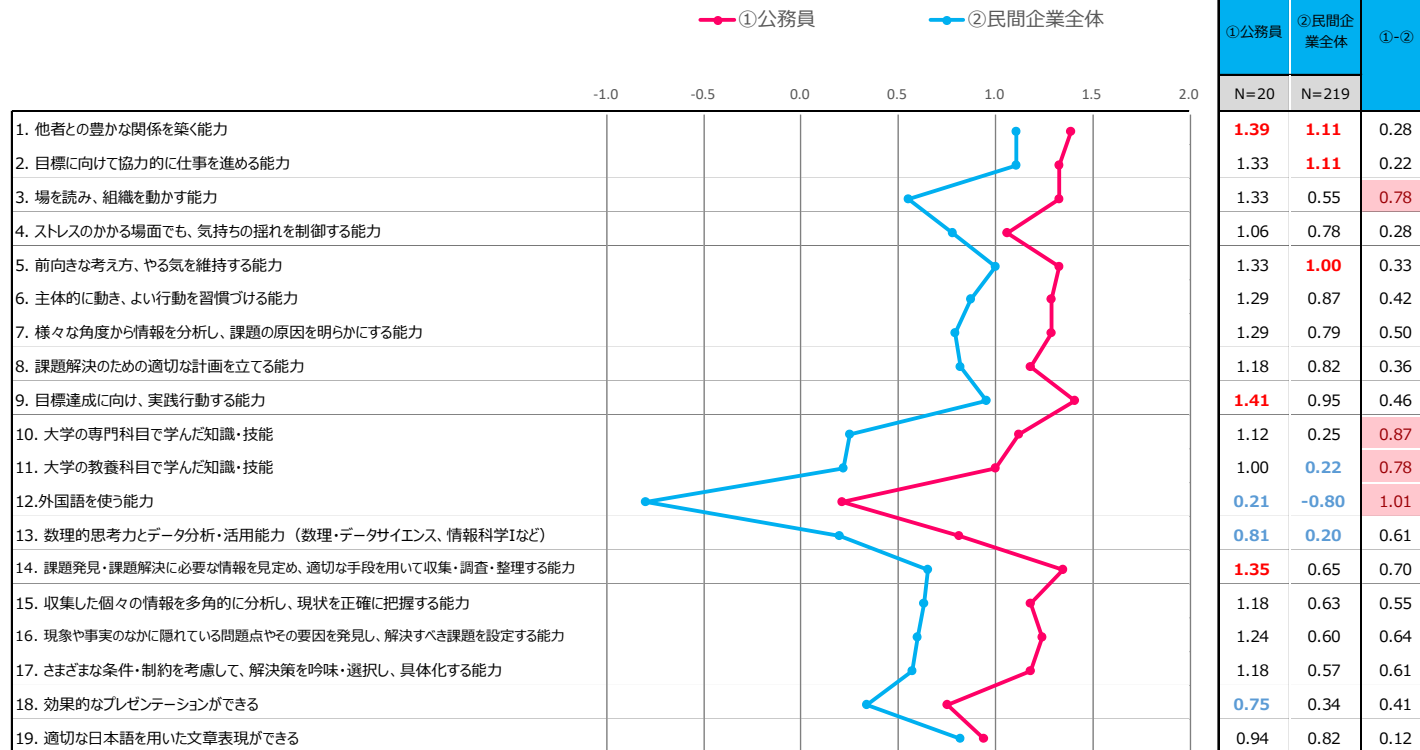
※卒業生の就業実績がある企業のみ

※非常に強く求めている：5点、強く求めている：4点、求めている：3点、余り求めていない：2点、求めていない：1点として加重平均値を算出。（無回答は除く）

Q5_3.卒業生の印象 公務員と民間企業全体の比較

- ✓ 公務員と民間企業全体とで印象を比較した。
- ✓ すべての項目で、公務員が民間企業全体を上回っている。
- ✓ 特にその差が大きい項目のTOP3は、「12.外国語を使う能力」、「10. 大学の専門科目で学んだ知識・技能」、「3. 場を読み、組織を動かす能力」、「11. 大学の教養科目で学んだ知識・技能」、であった。

■Q5_3 印象【卒業生の就業実績あり】



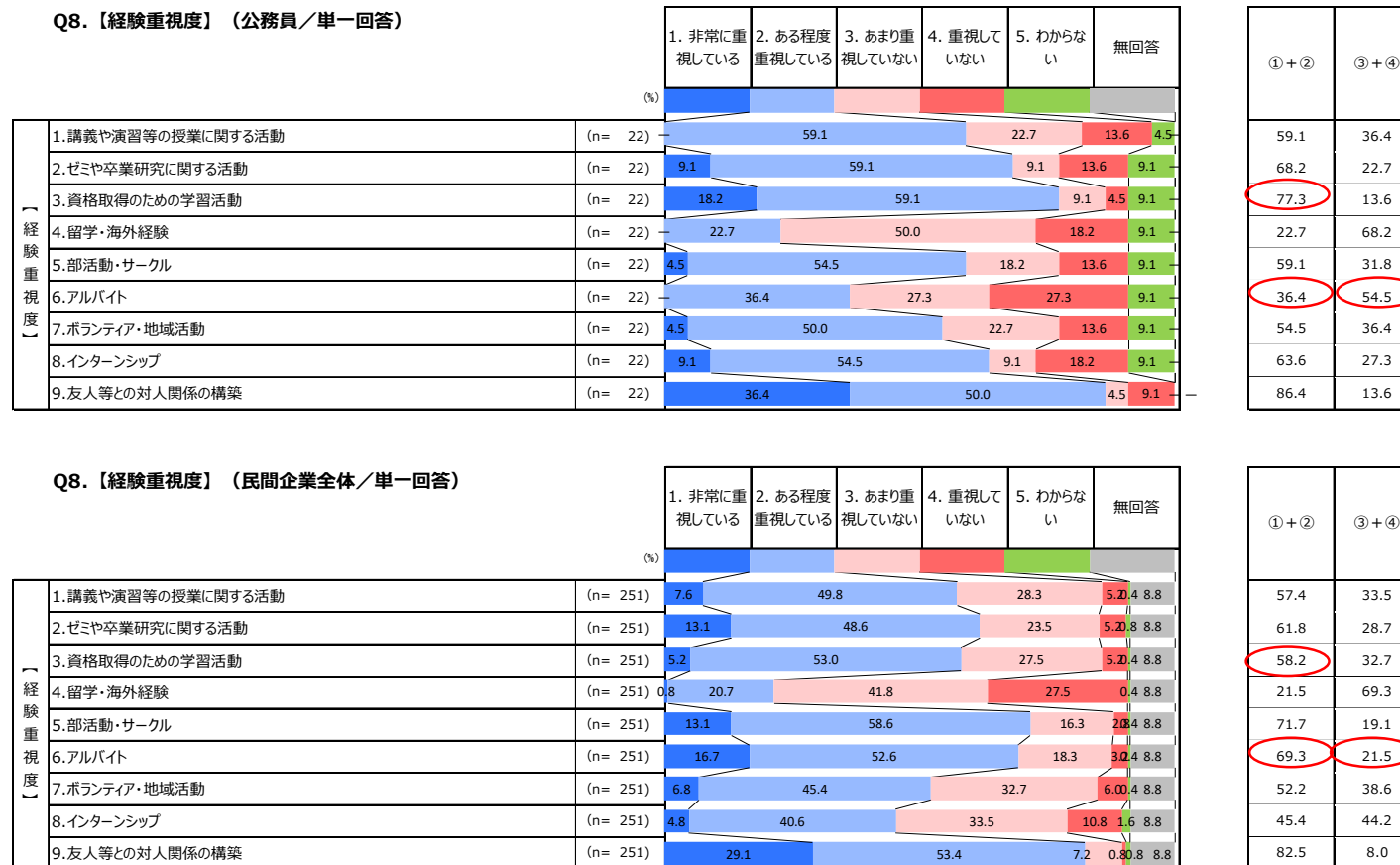
差が大きい
TOP 3

※卒業生の就業実績がある企業のみ

※よく当てはまる：2点、ある程度当てはまる：1点、あまり当てはまらない：-1点、まったく当てはまらない：-2点、として加重平均値を算出。（わからない、無回答は除く）

Q8. 経験重視度 公務員と民間企業全体の比較

- ✓ 「①+②（非常に重視している+ある程度重視しているの合計）」を比較してみると「3.資格取得のための学習活動」では、公務員が民間企業全体を19pt上回り、「6.アルバイト」では、民間企業全体が公務員を33pt上回っている。
- ✓ 「6.アルバイト」においては、公務員は27%が「重視していない」であり、「③+④（あまり重視していない+重視していないの合計）」は55%で、民間企業全体（22%）と比べて33pt高く、民間企業全体との重視度の差が特に大きい項目であることがわかる。



強みと課題（卒業生の印象×必要度） 公務員と民間企業全体の比較

- ✓ 公務員、民間企業全体で共通して「④強み予備軍」となっているのは、「1. 他者との豊かな関係を築く能力」、「2. 目標に向けて協力的に仕事を進める能力」であった。
- ✓ 公務員のみ「④強み予備軍」となっているのは「3. 場を読み、組織を動かす能力」で、民間企業全体のみ「④強み予備軍」となっているのは「5. 前向きな考え方、やる気を維持する能力」であった。

【①課題】
✓ 該当なし

【③強み】
✓ 該当なし

【②課題予備軍】
✓ 該当なし

【④強み予備軍】
✓ 1. 他者との豊かな関係を築く能力
✓ 2. 目標に向けて協力的に仕事を進める能力
✓ 3. 場を読み、組織を動かす能力

【①課題】
✓ 該当なし

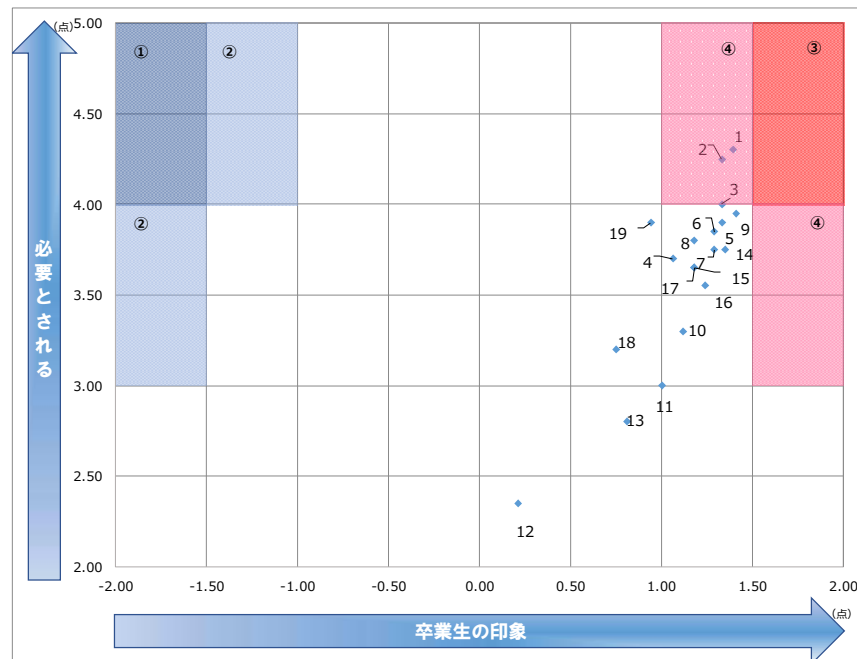
【③強み】
✓ 該当なし

【②課題予備軍】
✓ 該当なし

【④強み予備軍】
✓ 1. 他者との豊かな関係を築く能力
✓ 2. 目標に向けて協力的に仕事を進める能力
✓ 5. 前向きな考え方、やる気を維持する能力

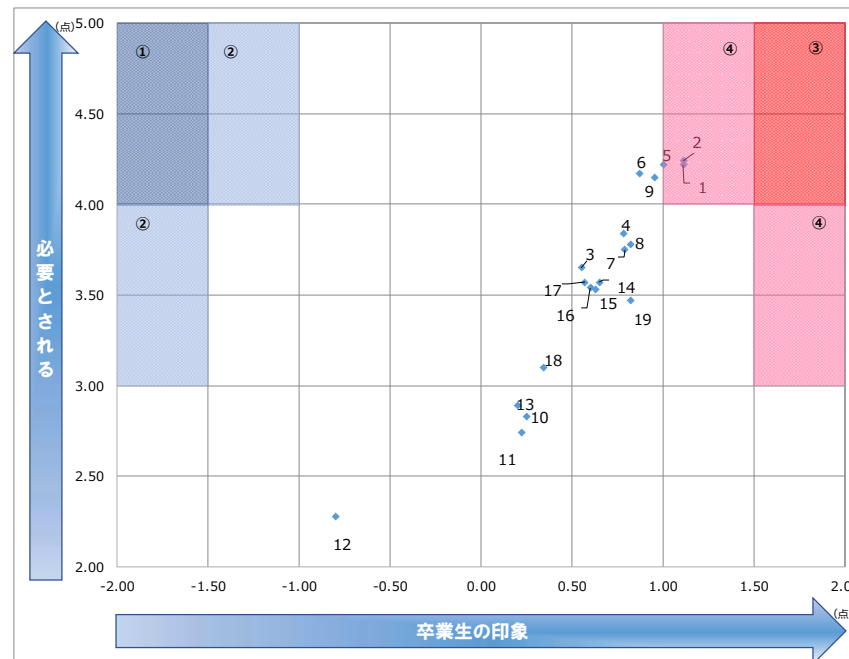
■公務員 (N=20)

*ただし無回答は除く



■民間企業全体 (N=219)

*ただし無回答は除く



Q11. 本学独自の人材育成プログラムを修了した人材の採用について

- ✓ 公務員、民間企業全体ともに「関心がある」は6割超、公務員では「関心がない」は該当なしであった。

